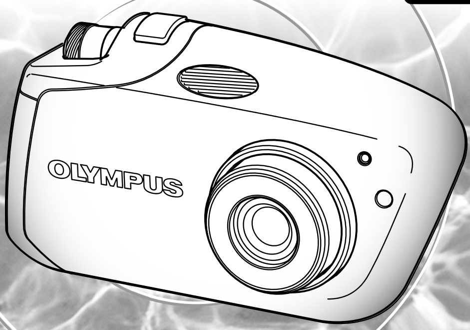
取扱説明書

応用編

デジタルカメラ

μ-mini DIGITAL

OLYMPUS



本書の使い方

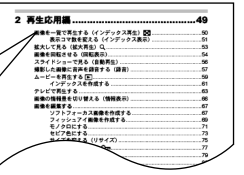
本書では、使いたい機能・知りたい機能をすぐに検索できるように、目次、索引、メニュー一覧のページが用意されています。

目次から探す ☞ P.5

本書の全タイトルが並べられています。撮影や再生、印刷などの目的別に構成されています。

こんなときに

撮影した画像を一覧で再生したい。
「2　再生応用編」から「画像を一覧で再生する(インデックス再生)・・・・・・・50」のページを検索します。

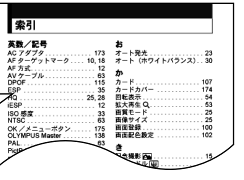

2 再生応用編 49
画像を一覧で再生する（インデックス再生）....50
表示コマ数を変える（インデックス表示）....51
拡大して見る（拡大再生）....53
画像を回転させる（回転表示）....54
スライドショーで見る（自動再生）....56
撮影した画像に音声を録音する（録音）....57
ムービーを再生する....59
インデックスを作成する....61
テレビで再生する....63
画像の情報量を切り替える（情報表示）....66
画像を編集する....67
ソフトフォーカス画像を作成する....67
フィッシュアイ画像を作成する....69
モノクロにする....71
セピア色にする....73
サイズを変える（リサイズ）....75

索引から探す ☞ P.187

機能名や各部の名称など、本書で使っている用語が 50 音順に並べられています。本書を読んでいるときに、分からない言葉や知りたい言葉がでてきたときに、索引からその用語を使っているページを探すことができます。

こんなときに

「ESP」について知りたい。
英数/記号の項目から「ESP・・・・・35」のページを検索します。


索引

英数／記号
AC アダプタ....173
AF ターゲットマーク....10, 18
AF 方式....12
AV ケーブル....63
DPOF....115
ESP....35
HQ....25, 28
iESP....12
ISO 感度....33
NTSC....63
OK／メニューボタン....175
OLYMPUS Master....138
PAL....63

お
オート発光....23
オート（ホワイトバランス）....30

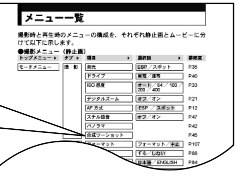
か
カード....107
カードカバー....174
回転表示....54
拡大再生....53
画質モード....25
画像サイズ....25
画面登録....100
画面配色設定....102

メニュー一覧から探す ☞ P.178

カメラのメニュー名が記載されています。メニューを操作しているときに、知りたいメニュー名がでてきたときはメニュー一覧からその機能の説明ページを探すことができます。

こんなときに

メニュー画面にある「合成ツーショット」ではどんな設定をするの？
メニューの操作順を追って「合成ツーショット── P. 45」のページを検索します。


メニュー一覧

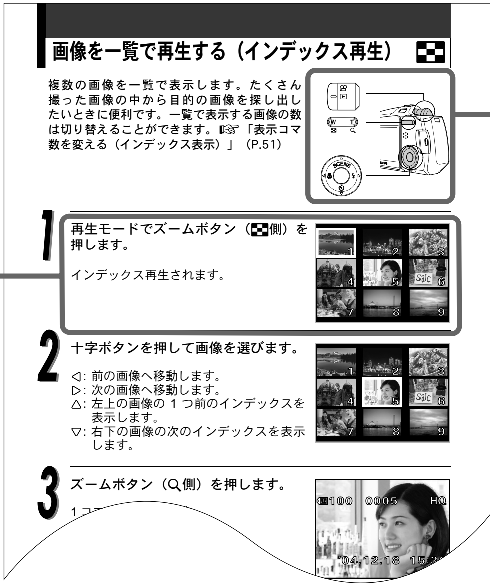
撮影時と再生時のメニューの構成を、それぞれ静止画とムービーに分けて以下に示します。

●撮影メニュー（静止画）

トップメニュー	タブ	項目	選択肢	参照頁
モードメニュー	撮影	測光	ESP／スポット	P35
		ドライブ	単写／連写	P40
		ISO 感度	オート／64／100／200／400	P33
		デジタルズーム	オフ／オン	P21
		AF 方式	iESP／スポット	P12
		ステレオ録音	オフ／オン	P47
		パノラマ		P42
		合成ツーショット		P45
		フォーマット	フォーマット／中止	P107
			する／しない	P88
			日本語／ENGLISH	P84

操作説明ページの見方

本書の操作説明ページの表記について説明します。撮影・再生を始める前にご確認ください。


画像を一覧で再生する（インデックス再生）

複数の画像を一覧で表示します。たくさん撮った画像の中から目的の画像を探し出したいときに便利です。一覧で表示する画像の数は切り替えることができます。☞「表示コマ数を変える（インデックス表示）」（P.51）

1 再生モードでズームボタン（▦側）を押します。

インデックス再生されます。

2 十字ボタンを押して画像を選びます。

◁: 前の画像へ移動します。
▷: 次の画像へ移動します。
△: 左上の画像の 1 つ前のインデックスを表示します。
▽: 右下の画像の次のインデックスを表示します。

3 ズームボタン（Q側）を押します。

この機能で操作するボタンとその位置がわかるように表記しています。

操作手順と画面を表記しています。

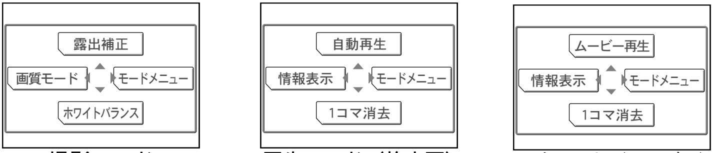
● 本書の表記について

注　意	故障やトラブルになるような、重要な注意事項が書かれています。絶対に避けていただきたい操作も書かれています。
ヒント	活用するために、知っておくと便利なことや役に立つ情報などが書かれています。
☞	本書での参照先のページを表します。

このページは説明のためのサンプルです。実際のページとは異なる場合があります。

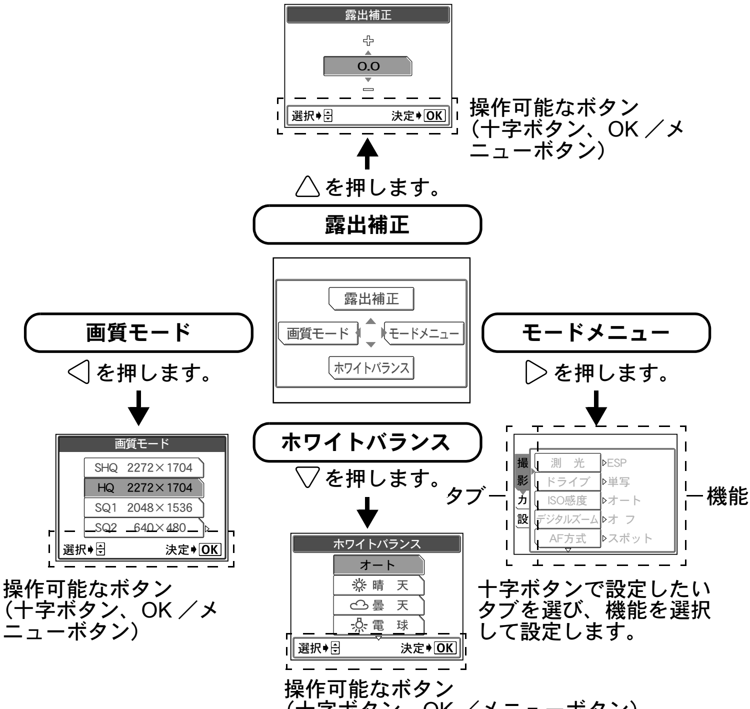
メニュー操作について

電源を入れて OK ／メニューボタンを押したとき、液晶モニタに表示される画面をトップメニューといいます。トップメニューは以下の3種類があります。



撮影モード　　再生モード（静止画）　　再生モード（ムービー）

● ここでは、撮影モードの画面を使って、メニューのしくみについて説明します。



ヒント

● メニュー一覧については、☞P.178 をご覧ください。
● メニュー画面をすぐ終了したいときは、もう一度 OK ／メニューボタンを押します。

目次

1　撮影応用編

連写・フラッシュ・ズーム・ムービー（動画）などさまざまな撮影方法を説明します。

撮影機能の設定を変更したい場合は「3 設定編」を参照してください。

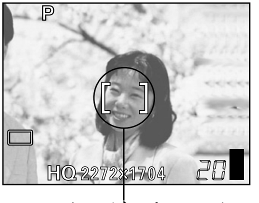


ピントの合わせ方（フォーカスロック）

ピントを合わせたい被写体が AF ターゲットマークから外れる（液晶モニタの中央にない）ときは、次の操作でピントを固定して撮影することができます。この操作をフォーカスロックといいます。

1

撮影モードでピントを合わせたい被写体に AF ターゲットマークを合わせます。



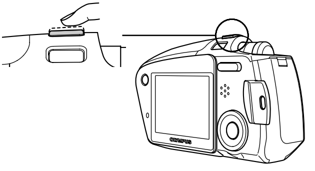
AF ターゲットマーク

ヒント

- ピントが合いにくいものの場合は、まず撮影したいものとほぼ同じ距離のものにカメラを向けます。

2

シャッターボタンを半押しします。



ヒント

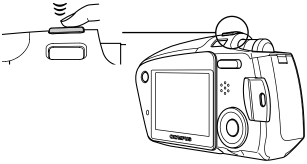
- 緑ランプが点灯すると、ピントと露出、ホワイトバランスが決まります。
- 緑ランプが点滅している場合は
  ① 被写体までの距離が近すぎます。50 cm 以上離れて撮影してください。50 cm 未満の距離で撮影するときは、マクロ撮影をしてください。☞「近くの被写体を撮る（マクロ撮影）🌷」（P.37）
  ② ピントが決定されていません。シャッターボタンから指を離し、ピントを合わせる位置を少しずらしてもう一度シャッターボタンを半押ししてください。

3

半押しの状態のまま、撮影したい構図にカメラを動かします。



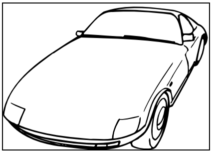
4 半押しの状態から、さらにシャッターボタンを押して、撮影します。



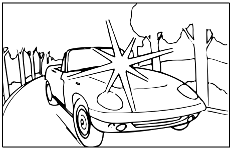
オートフォーカスが苦手な被写体

このカメラは自動的にピント合わせができますが（オートフォーカス）、次の場合、ピントが合いにくいことがあります。被写体と同距離にあるコントラストのはっきりとしたものでフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。

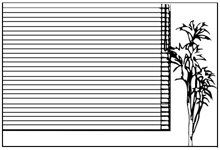
フォーカスロックの手順は、☞P.10 をご覧ください。



コントラストがはっきりしない被写体



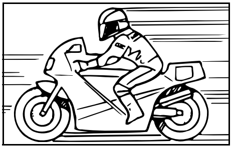
画面中央に極端に明るいものがある場合



縦線のないもの（下記「ヒント」参照）



遠いものと近いものが混在する場合



動きの速いもの



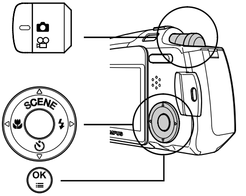
ピントを合わせたいものが中央にない

ヒント

- 縦線のない被写体の場合は、カメラを縦位置に構えてフォーカスロックした後、構図を横に戻して撮影しても効果的です。

ピントを合わせる範囲を変える（AF方式）

被写体の焦点を合わせる方式を選択します。



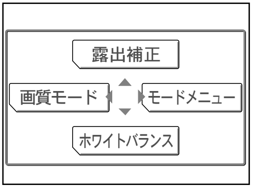
スポット	AF ターゲットマーク内の被写体にピントを合わせます。
iESP	画面の範囲内からピントを合わせる被写体を判断します。被写体が中央にない場合もピントは合います。

1

撮影モード（📷）で OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

▷を押して、モードメニューに入ります。



2

△または▽を押して［撮影］タブを選びます。

▷を押して、撮影メニューに入ります。



3

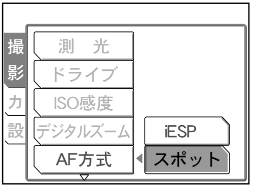
△または▽を押して［AF方式］を選びます。

▷を押して、AF方式の設定に入ります。



4 △または▽を押して［iESP］または［スポット］を選び、OK／メニューボタンを押します。

AF 方式が設定されます。

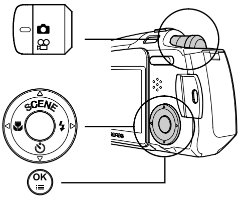


もう一度、OK ／メニューボタンを押すとメニューが終了します。

5 撮影します。

撮影シーンを選ぶ SCENE

このカメラには、14 種類の撮影シーンがあります。目的や状況に合わせてシーンを選ぶだけで、簡単に撮影を楽しむことができます。



ヒント

- カメラに慣れるまでは、P（プログラム）オートで撮影することをおすすめします。

1

撮影モード（📷）で△（SCENE）を押します。

撮影シーンを選ぶシーンセレクト画面が表示されます。



2

△または▽で撮影シーンを選び、OK／メニューボタンを押します。

選んだ撮影シーンに設定されます。



撮影シーンの種類

●Ｐ（プログラム）オート **P**

シャッターボタンを押すだけで、カメラが最適と判断した状態で撮影ができます。

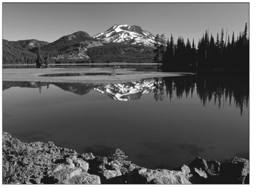
●ポートレート

人物を撮影するのに最適です。肌の質感をより美しく撮影します。



●風景

遠くの風景もハッキリと、メリハリのあるシャープな写真が撮影できます。



●記念撮影

人物と風景を一緒に撮るのに最適です。



●夜景

ライトアップされた建物など、夜景を撮るのに適しています。



ヒント

● （夜景）に設定すると、撮影時シャッター速度が遅くなります。手ぶれを防ぐために三脚のご使用をおすすめします。

●料理

料理や素材を新鮮に撮影することができます。彩度、シャープネス、コントラストを高めに設定し、被写体を鮮やかにくっきりと撮影します。



●ビーチ&スノー

海岸や雪山での撮影に最適です。白砂や雪が白く美しく撮影できます。





●一人旅

旅先での撮影に最適です。セルフタイマーを使って自分と風景を撮影します。



●ショーウィンドウ

ガラス越しの被写体に、ピントを合わせて撮るのに最適です。



●セルフポートレート

撮影者がカメラを持って、自分を撮るのに最適です。



ヒント

- ズームは広角（W 側）の位置で固定され、変更できません。
- スポット測光は使えません。

●パーティショット



屋内で人物と背景をいっしょに撮るのに最適です。背景もきれいに再現されます。

ヒント

- 画質モードはSQ2の「1280×960」「1024×768」「640×480」のみ設定できます。

●キャンドル



キャンドルライトを活かした画像を撮るのに最適です。温かみのある色が再現されます。

ヒント

- 画質モードはSQ2の「1280×960」「1024×768」「640×480」のみ設定できます。

●夕日



夕景を撮るのに最適です。赤や黄色を鮮やかに再現します。

●打ち上げ花火



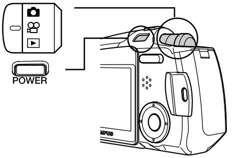
夜空に打ち上げられた花火を撮るのに最適です。

ヒント

- （打ち上げ花火）に設定すると、撮影時シャッター速度が遅くなります。手ぶれを防ぐために三脚のご使用をおすすめします。

ムービーを撮影する

このカメラでは静止画だけでなく、ムービー（動画）も撮影できます。ムービーの撮影中は、被写体が動いても露出は常に正しく合います。
また、ムービー撮影すると、自動的に音声も録音されます。



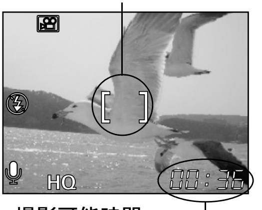
1

モードダイヤルを 🎥 にセットし、パワースイッチを押します。

電源が入り、レンズが繰り出して液晶モニタが点灯し、動画撮影モードになります。

2

液晶モニタを見ながら、AF ターゲットマークを被写体に合わせます。



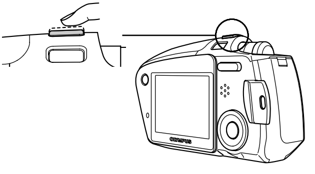
ヒント

- 撮影可能時間が液晶モニタに表示されます。

3

シャッターボタンを軽く押します。（半押し）

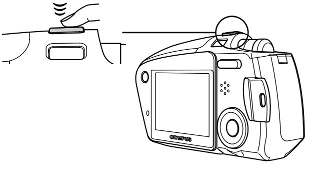
ピントとホワイトバランスが決まり、緑ランプが点灯します。



4

半押しの状態から、さらにシャッターボタンを押して、撮影を始めます。（全押し）

- ムービー撮影中は 🎥 マークが赤く点灯します。



5 もう一度シャッターボタンを押して、撮影を終了します。

- 撮影可能時間が 0 になると、自動的に撮影を終了します。
- 撮影したムービーを再生する場合は、☞「ムービーを再生する ▶」（P.59）をご覧ください。

6 パワースイッチを押すと、電源が切れます。

ヒント

- 録音マイクやスピーカに水滴がついた場合は、音声が一時的に劣化します。水滴が蒸発すれば元に戻ります。
- 撮影中、光学ズームは使えません。ズームを使いたいときは、［デジタルズーム］を［オン］に設定します。☞「ズームを使う」（P.20）

ズームを使う

このカメラは通常のズーム（光学ズーム）とデジタルズームの 2 つのズームを備えています。
ズームボタンを押して、撮影する範囲や構図を決めます。

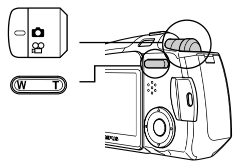
光学ズーム	2 倍
光学ズーム＋デジタルズーム	8 倍

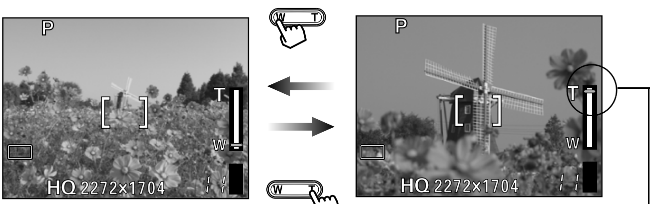
光学ズームを使う

1 撮影モード（📷）でズームボタンを押します。

ズームボタンの T を押し続けると、遠くのものが大きくなります。（望遠）

ズームボタンのWを押し続けると、広い範囲を撮ることができます。（広角）





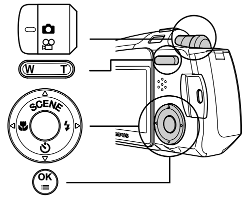
広角（W）　望遠（T）　ズームバーが上下します。

●撮影距離と撮影範囲

ズーム位置	撮影距離	撮影範囲（最短撮影距離）（W × H）
マクロ撮影時　（広角 W 側）	20 cm ～ ∞	209 × 154mm（20 cm）
マクロ撮影時　（望遠 T 側）	20 cm ～ ∞	105 × 　78mm（20 cm）
通常撮影時　　（広角 W 側）	50 cm ～ ∞	509 × 376mm（50 cm）
通常撮影時　　（望遠 T 側）	50 cm ～ ∞	255 × 191mm（50 cm）

デジタルズームを使う

光学ズームの操作はズームボタンを押すだけで動作しますが、デジタルズームはメニューで［オン］に設定することで動作します。



ヒント

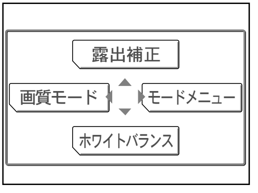
- 光学ズームはレンズを動かして被写体を拡大しています。デジタルズームの場合、光学ズームとしくみが異なり、カメラがとらえた画像の中央部を切り取って、液晶モニタにデジタル処理して拡大表示しています。そのため、撮影した画像は粗くなります。

1

撮影モードでOK／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

▷を押して、モードメニューに入ります。



2

△または▽を押して［撮影］タブを選びます。

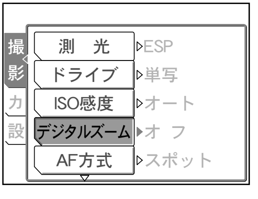
▷を押して、撮影メニューに入ります。



3

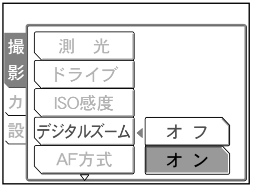
△または▽を押して［デジタルズーム］を選びます。

▷を押して、デジタルズームの設定に入ります。



4

△または▽を押して［オン］を選び、OK ／メニューボタンを押します。



デジタルズームが設定されます。

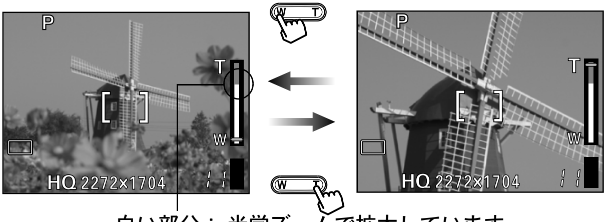
もう一度、OK ／メニューボタンを押すとメニューが終了します。

ヒント

- ［オフ］を選ぶとデジタルズームは使えません。

5

ズームボタンを押します。



白い部分： 光学ズームで拡大しています。
赤い部分： デジタルズームで拡大しています。

注　意

- デジタルズームの領域で撮影すると、画像が粗くなることがあります。
- 高倍率になるほど手ぶれが起こりやすくなります。手ぶれ防止のため、三脚を使うなどして、カメラを固定してください。
- セルフポートレートモードの場合は、ズームは使えません。

フラッシュを使う

フラッシュはあらかじめオート発光に設定されていますが、撮影目的に合わせて、以下の 4 種類から選べます。

オート発光（初期設定）

暗いときや逆光のとき、フラッシュが自動的に発光します。

赤目軽減

暗いところで人物を撮影すると目が赤く写ることがありますが、［赤目軽減］に設定するとこの現象が軽減されます。フラッシュが発光する前に数回の予備発光をさせて、目が赤く写ってしまう現象を起こりにくくします。

注　意

- 最初の予備発光からシャッターが切れるまで約1秒かかります。カメラをしっかり構えて手ぶれを防いでください。
- フラッシュを正面から見ていない場合や、予備発光を見ていない場合、距離が遠い場合などや個人差により、赤目軽減の効果が現れにくくなります。

強制発光

撮影場所の明るさに関係なく、フラッシュを必ず発光させます。木かげなどで顔にかかった陰をやわらげるときや逆光、蛍光灯などの人工照明下での撮影に使います。

発光禁止

フラッシュは発光しません。暗いところでも発光させたくないときや、フラッシュを使えない場所で設定します。

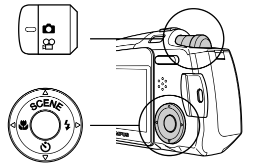
注　意

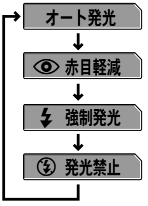
- 暗いところの撮影ではシャッター速度が遅くなりますので、手ぶれを防ぐため三脚のご使用をおすすめします。

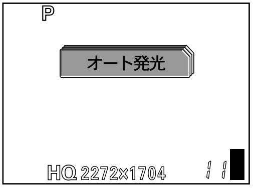
1

撮影モード（📷）で▷（⚡）を繰り返し押して、フラッシュの設定を切り替えます。

フラッシュの設定の順番は、矢印の順に変わります。







ヒント

- フラッシュ充電中はフラッシュ充電ランプ（⚡）が点滅します。
- 例えば、強制発光に設定すると、画面にフラッシュモードマークが表示されます。
- フラッシュの選択画面は自動的に終了します。



フラッシュモードマーク

●フラッシュ到達距離について

フラッシュ使用時の適正撮影距離は以下のとおりです。

撮影距離（広角W側）	0.2～2.8 m
撮影距離（望遠T側）	0.2～2.0 m

画像のサイズと画質を変える（画質モード）

静止画の画質モード

画像をカードに記録するときの画像サイズと画質を選びます。
画像サイズと画質を用途に応じて選びます。カメラはあらかじめ HQ に設定されています。

画質モード	画質	画像サイズ		使用例
SHQ	きれい	2272 × 1704（低圧縮）	大きい	大きくプリントする。パソコンで画像編集する。
HQ	ふつう	2272 × 1704（以下標準圧縮）	↕	ハガキサイズにプリントする。
SQ1		2048 × 1536		L 版にプリントする。
SQ2		1600 × 1200		Web に掲載する。E メールに添付する。
		1280 × 960		
		1024 × 768		
		640 × 480	小さい	

●カード容量ごとの撮影可能枚数

画質モード / カード容量	SHQ	HQ	SQ1	SQ2			
				1600 × 1200	1280 × 960	1024 × 768	640 × 480
16MB	5	16	20	24	38	58	90
32MB	11	32	40	48	76	117	180
64MB	22	65	81	97	153	234	362
128MB	45	130	163	194	307	469	726
256MB	90	262	326	389	614	940	1453
512MB	180	523	652	779	1229	1879	2904

ヒント

- カードの撮影可能枚数はおおよその目安です。
- 撮影可能枚数は撮影対象やプリント予約の有無などによっても変わります。
- 撮影や画像の消去をしても、撮影可能枚数は変わらないことがあります。
- スチル録音時は、撮影可能枚数が少なくなります。

画像サイズと圧縮率

●圧縮率と画質

画質は圧縮率によって左右されます。低圧縮の画質で撮影した画像は、標準圧縮の画質で撮影した画像に比べて、より精細に画像を記録できます。ただし、圧縮率が低いほどデータ量が多くなり、カードに記録できる画像の枚数も少なくなります。

●画像サイズ

画像をカードに記録する際の大きさ（縦の画素数 × 横の画素数）です。画像をプリントするときは、大きなサイズで記録しておくときれいにプリントされます。ただし、画像サイズが大きくなるほどファイルサイズ（データの量）も大きくなり、カードに記録できる枚数は少なくなります。

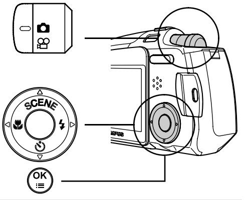
●画像サイズとパソコンモニタ上での画像の大きさ

撮影した画像をパソコン上で見る場合に表示される画像の大きさは、パソコンのモニタ設定によって異なります。たとえば、1024 × 768 ピクセルの画像サイズで撮影された画像は、パソコンのモニタ設定が 1024 × 768 のとき画像を等倍（100％）で表示すると、モニタ全体に表示されます。モニタ設定がそれ以上（1280 × 1024 など）になると、モニタの一部にしか表示されません。

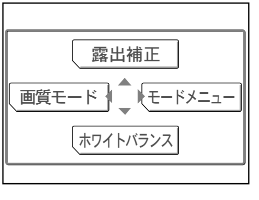
1

撮影モード（📷）で OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。



◁ を押して、［画質モード］を選びます。



2

△または▽を押して［SHQ］［HQ］［SQ1］［SQ2］から選びます。

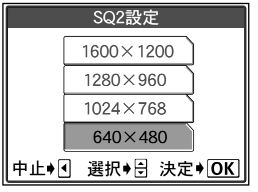


［SHQ］［HQ］［SQ1］を選んだ場合は、手順 4 へ進みます。

［SQ2］を選んだ場合は、手順 3 へ進みます。

3

▷を押して、SQ2 設定画面を表示します。△または▽を押して画像サイズを選び、OK ／メニューボタンを押します。



4

OK ／メニューボタンを押します。

選んだ画質モードと撮影可能枚数が表示されます。

ヒント

- 設定した画質モードをカメラの電源をオフにしても記憶しておきたい場合は、設定保持を「する」に設定します。☞「設定を記憶するには（設定保持）」（P.88）

ムービーの画質モード

2種類の画質モードがあります。画質モードにより撮影可能時間が異なります。

画質モード	画像サイズ（コマ / 秒）	撮影可能時間（16MB）
HQ	320 × 240（15 コマ / 秒）	約 41 秒
SQ	160 × 120（15 コマ / 秒）	約 150 秒

●カードに記録できる撮影時間の合計

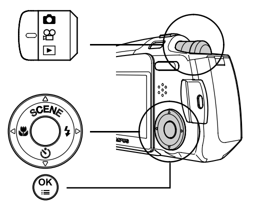
画質モード / カード容量	HQ	SQ
16MB	約 41 秒	約 150 秒
32MB	約 83 秒	約 300 秒
64MB	約 170 秒	約 600 秒
128MB	約 330 秒	約 1200 秒
256MB	約 670 秒	約 2400 秒
512MB	約 1300 秒	約 4800 秒

注意

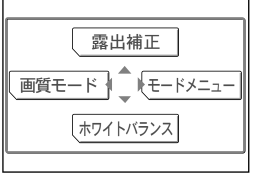
- 撮影可能時間はおおよその目安です。

1 動画撮影モード（🎥）で OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。



◁を押して、［画質モード］を選びます。



1 撮影応用編

2

△または▽を押して［HQ］［SQ］から選びます。



3

OK ／メニューボタンを押します。

選んだ画質モードと撮影可能時間が表示されます。

撮影場所の明かりに適した設定をする（ホワイトバランス）

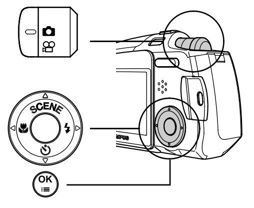
白い紙に晴天時の太陽があたっているとき、夕日があたっているとき、電球の灯りがあたっているときでは、それぞれの白が違います。人間の目は明かりに左右されることなく白いものを白色と認識しますが、デジタルカメラの場合、明かりに合わせて白いものが白く写るように色の調整を行う必要があります。この調整機能をホワイトバランスといいます。

オート	撮影場所の明かりに合わせて、自然な色合いで写るようカメラが自動的に調整します。	
プリセット	撮影場所の明かりに応じてホワイトバランスを選びます。	
	晴天	晴れた屋外での撮影時に適しています。
	曇天	曇った屋外での撮影時に適しています。
	電球	電球の灯りでの撮影時に適しています。
	蛍光灯	蛍光灯の灯りでの撮影時に適しています。

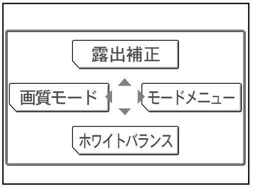
1

撮影モードで OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

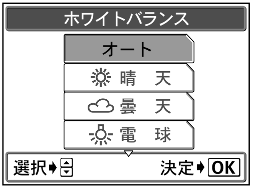


▽を押して、［ホワイトバランス］を選びます。



2

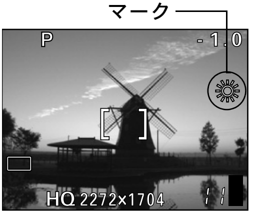
△または▽を押して［オート］［晴天］［曇天］［電球］［蛍光灯］から選び、OK／メニューボタンを押します。



選んだホワイトバランスが設定されます。



- ホワイトバランスを設定すると、マーク（☼☁💡☰）が表示されます。
- 「オート」に設定した場合は表示されません。



ヒント

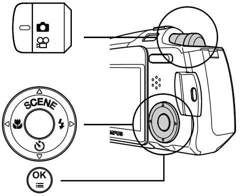
- 朝日や夕日を赤く撮りたいときは、ホワイトバランスを晴天や曇天に設定すると、きれいに撮影できます。

注　意

- 複数の照明があたっているような特殊な光源下では、ホワイトバランスの効果が発揮できない場合があります。
- オート以外に設定して撮影した場合、画像を再生して色を確認してください。
- オート以外に設定してフラッシュを発光した場合、液晶モニタで見た画像と異なった色合いで撮影されることがあります。

明るい／暗い被写体に適した設定をする（露出補正）

被写体が非常に明るかったり、暗かったりする場合や、被写体と背景の明るさの差が非常に大きい場合は露出補正をすることで明るさの調整ができます。露出補正は、1/3EV 刻みで ±2.0 の範囲で調整できます。

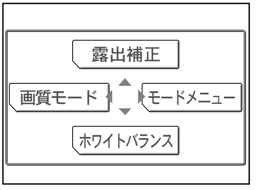


1

撮影モードで OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

△を押して、［露出補正］を選びます。

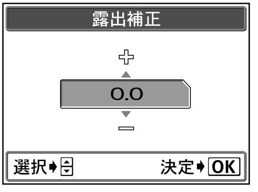


2

△または▽を押して補正値を選びます。

△：＋に補正されて明るくなります。

▽：－に補正されて暗くなります。



3

OK ／メニューボタンを押します。

選んだ補正値に設定されます。

ヒント

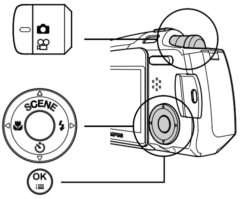
- 通常、白い被写体（雪など）を撮影すると実際より暗く写ってしまいますが、プラスに補正すると見たままの白を表現することができます。黒い被写体を撮影するときには逆に、マイナスに補正すると効果的です。
- 撮影後は、露出補正値を 0（ゼロ）に戻しておくことをおすすめします。

注　意

- フラッシュを使用すると意図した明るさ（露出）で撮影できないことがあります。

ISO 感度を切り替える（ISO 感度）

ISO 感度は数値が大きいほど感度が高く、より暗いところ（光量が少ないところ）での撮影が可能になりますが、感度が高くなるにつれて電気的なノイズが増えて画像が粗くなります。



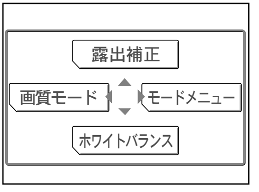
オート	被写体の条件に合わせて自動的に感度が変わります。
64/100/200/400	感度を低くすると、日中の撮影に最適でシャープな画像を撮ることができます。感度が高くなるにつれて、速いシャッター速度で撮影できます。

1

撮影モードで OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

▷を押して、モードメニューに入ります。



2

△または▽を押して［撮影］タブを選びます。

▷を押して、撮影メニューに入ります。



3

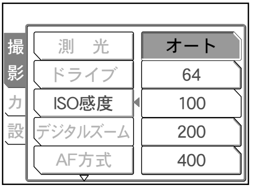
△または▽を押して［ISO 感度］を選びます。

▷を押して、ISO 感度の設定に入ります。



4

△または▽を押して最適な ISO 感度を選び、OK ／メニューボタンを押します。



ISO 感度が設定されます。

もう一度、OK ／メニューボタンを押すとメニューが終了します。

5

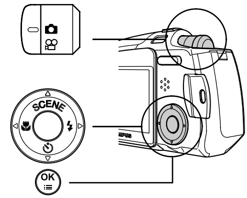
撮影します。

注　意

- ISO 感度を高く設定するほど画像のノイズが増えます。
- ISO 感度は銀塩写真のフィルムを基準に設定されていますが、数値は目安です。
- ISO 感度がオートに設定されているとき、暗いところでフラッシュを使わずに撮影すると、シャッター速度が遅くなり手ぶれする可能性があるため自動的に感度が上がります。
- ISO 感度がオートに設定されているとき、被写体が遠くフラッシュ光が届かない場合、自動的に感度が上がります。

被写体と背景の明るさが異なるとき（測光）

逆光のときは、人物の顔などが暗く写ることがあります。この場合、スポット測光を使用すると、背景の明るさに影響されることなく撮影できます。



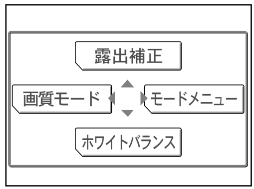
ESP（表示なし）	画面の中央部と周辺部を別々に測光して、最適な露出にします。
スポット（ ）	AF ターゲットマークの範囲を測光します。中央部の被写体に適正な露出にします。

1

撮影モードで OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

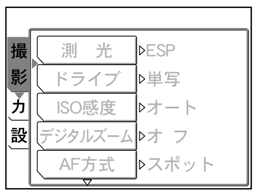
▷を押して、モードメニューに入ります。



2

△または▽を押して［撮影］タブを選びます。

▷を押して、撮影メニューに入ります。



3

△または▽を押して［測光］を選びます。

▷を押して、測光の設定に入ります。

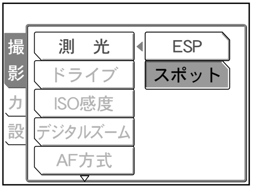


4

△または▽を押して［スポット］を選び、OK ／メニューボタンを押します。

スポット測光が設定されます。

もう一度、OK ／メニューボタンを押すとメニューが終了します。



5

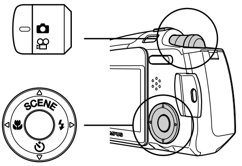
撮影します。

①撮りたい被写体を画面中央にして半押しします。

②構図を決めて撮影します。

近くの被写体を撮る（マクロ撮影） 🌷

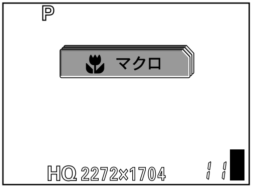
花などの被写体に近づいて撮影することをマクロ撮影といいます。このカメラでは、20cm まで近づいて撮影できますが、さらに近づきたいときには、スーパーマクロ機能を使うことにより 8cm まで撮影が可能になります。



1

撮影モードで◁（🌷）を繰り返し押し、［🌷 マクロ］を選びます。

設定後、液晶モニタに 🌷 マークが表示されます。



2

撮影します。

注　意

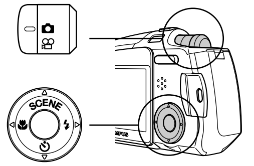
- マクロを解除する場合は、［マクロオフ］に設定します。
- マクロを設定した状態で、50 cm より遠距離の被写体を撮影することもできます。ただし、通常の撮影よりピント合わせに時間がかかります。
- フラッシュ使用時は影が目立ったり、十分な明るさにならないことがあります。

●撮影距離と撮影範囲

ズーム位置	撮影距離	撮影範囲（最短撮影距離）（W × H）
マクロ撮影時（広角 W 側）	20 cm ～ ∞	209 × 154mm（20 cm）
マクロ撮影時（望遠 T 側）	20 cm ～ ∞	105 × 78mm（20 cm）

さらに近づいて撮影する（スーパーマクロ撮影）

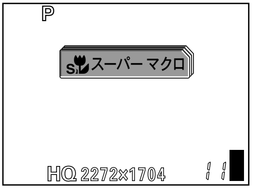
スーパーマクロモードでは、8 cmまで接近して撮影することができます。ただし、ズームが望遠（T 側）に固定され、フラッシュは発光しません。



1

撮影モードで◁（）を繰り返し押し、［スーパーマクロ］を選びます。

ズームが望遠側に移動して、スーパーマクロが設定されます。
設定後、液晶モニタに マークが表示されます。



2

撮影します。

ヒント

- スーパーマクロを解除する場合は、［マクロオフ］に設定します。
- スーパーマクロを設定して、撮影距離が20 cm以上の被写体を撮影する場合は、通常の撮影よりピントが合うまで時間がかかります。

●撮影距離と撮影範囲

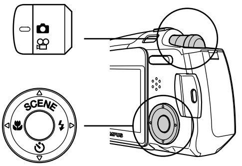
ズーム位置	撮影距離	撮影範囲（最短撮影距離）（W × H）
スーパーマクロ （T 側）	8 cm 〜 50 cm	44.3 × 33.2mm（8 cm）

セルフタイマーで撮る

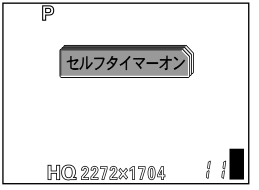
セルフタイマー撮影では、シャッターボタンを押してから約 12 秒後にシャッターが切れます。三脚などにカメラを固定させた状態で撮影してください。

1

撮影モードで▽（ ）を繰り返し押し、［セルフタイマーオン］を選びます。

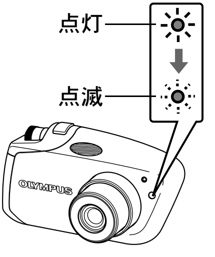


設定後、液晶モニタに マークが表示されます。



2

撮影します。



ヒント

- セルフタイマーを解除する場合は、［セルフタイマーオフ］に設定します。
- セルフタイマーランプが約 10 秒間点灯し、さらに約 2 秒間点滅した後、シャッターが切れます。
- 作動中のセルフタイマーを中止するには、▽を押します
- セルフタイマーは、一回の撮影が終わると自動的に解除されます。

注　意

- カメラレンズの直前に立って、セルフタイマーを作動しないでください。ピントや露出が合わなくなります。

連続して撮る（連写）

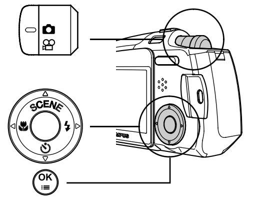
シャッターボタンを押している間、約 1.3 コマ／秒で静止画を連続して撮影します（画質モードが［SHQ］の場合、7 枚連続撮影できます）。

連続した画像の中から好みの画像を選べるため、動いているものの撮影におすすめです。

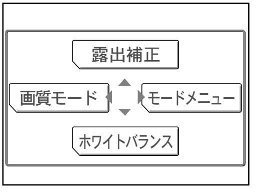
1

撮影モード（📷）で OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。



▷を押して、モードメニューに入ります。



2

△または▽を押して［撮影］タブを選びます。

▷を押して、撮影メニューに入ります。



3

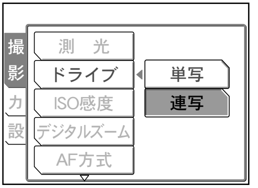
△または▽を押して［ドライブ］を選びます。

▷を押して、ドライブの設定に入ります。



1
撮影応用編

4 △または▽を押して［連写］を選び、OK ／メニューボタンを押します。



連写が設定されます。

もう一度、OK ／メニューボタンを押すとメニューが終了します。

5 撮影します。

液晶モニタに連写マークが表示されます。

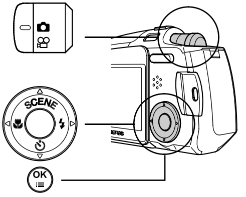


ヒント

- シャッターボタンを全押ししている間は連写が続きます。指を離すと連写は止まります。
- 最初の 1 コマで、ピントは決定されます。

パノラマ写真を撮る

付属の xD ピクチャーカードを使うと、パノラマ写真が楽しめます。
被写体の端が重なるよう撮影し、ソフトウェア OLYMPUS Master（付属の CD-ROM に収録）を使用してつなぎ合わせ、1 枚のパノラマ合成画像を作成することができます。

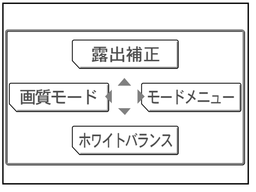


注　意

- オリンパス製の xD ピクチャーカード以外ではパノラマ撮影はできません。

1

撮影モード（📷）で OK ／メニューボタンを押します。



トップメニューが表示されます。

▷を押して、モードメニューに入ります。

2

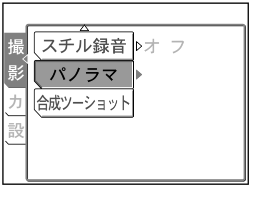
△または▽を押して［撮影］タブを選びます。



▷を押して、撮影メニューに入ります。

3

△または▽を押して［パノラマ］を選びます。



▷を押して、パノラマの撮影画面に入ります。

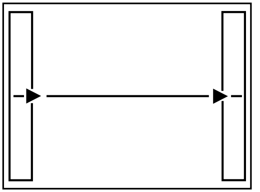
4 液晶モニタを見ながら、十字ボタンで撮影する方向を指定します。

▷：左から右に撮影するとき

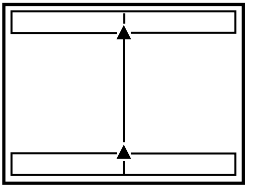
◁：右から左に撮影するとき

△：下から上に撮影するとき

▽：上から下に撮影するとき

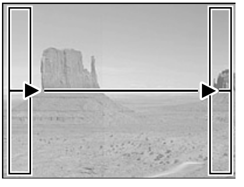


左から右に撮影するとき



下から上に撮影するとき

5 1 枚目を撮影します。

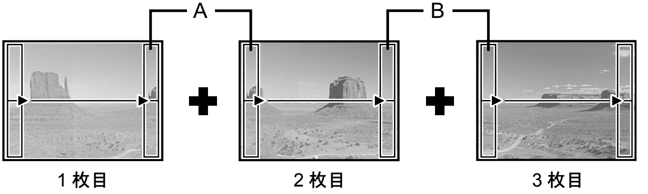


ヒント

- ピント・露出・ホワイトバランスなどは、1 枚目で決定されます。1 枚目に太陽など光の強い被写体を入れた撮影をしないでください。

6 被写体の一部が重なるように撮影します。

画面の両端に表示される枠を目安に構図を決めていきます。1 枚目と 2 枚目は A の部分が重なるように撮影します。同様に 2 枚目と 3 枚目では、B の部分が重なるように撮影します。撮影するときは次の撮影のために、枠内の画像を覚えておいてください。



ヒント

- 最大 10 枚までパノラマ撮影が可能です。
- 10 枚撮り終わると警告マーク が表示されます。

撮影が終わったら、OK ／メニューボタンを押してパノラマ撮影を終了します。

ヒント

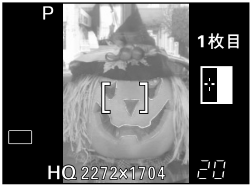
- パノラマ写真の合成は、付属の CD-ROM に収録されている OLYMPUS Master を使って、撮った画像をつなぎ合わせます。



2 枚の画像を貼り合わせる（合成ツーショット）

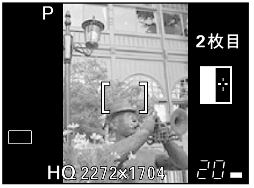
2 回続けて撮影した画像を隣り合わせに配置して、1 枚の画像として保存します。別々の被写体を 1 枚の画像にして楽しむことができます。

1 枚目



左側に配置されます。

2 枚目



右側に配置されます。

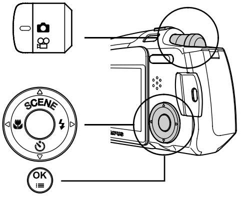
再生時の画像



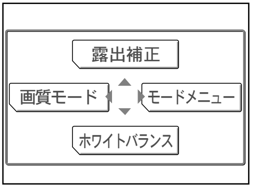
1

撮影モード（📷）で OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。



▷を押して、モードメニューに入ります。



2

△または▽を押して［撮影］タブを選びます。

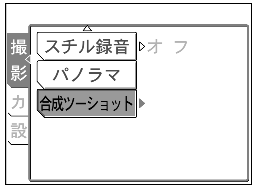
▷を押して、撮影メニューに入ります。



3

△または▽を押して［合成ツーショット］を選びます。

▷を押して、合成ツーショットの撮影画面に入ります。



4

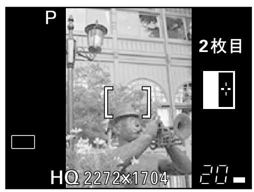
液晶モニタを見ながら1枚目を撮影します。



5

続けて2枚目を撮影します。

2枚目を撮影すると、自動的にメニューに戻ります。

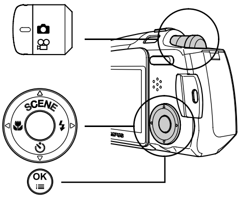


ヒント

- まだ1枚も撮影していない状態、または1枚目を撮影した状態で合成ツーショットを解除したい場合は、OK／メニューボタンを押してください。1枚目に撮影した画像は記録されません。

撮影時に音声を録音する（スチル録音）

静止画を撮影するときに音声を録音します。シャッターが切れてから約0.5秒後に録音を開始し、約 4 秒間録音します。スチル録音をオンに設定すると、撮影後、毎回自動的に録音します。撮影した画像に対するコメントなどを録音しておくと便利です。

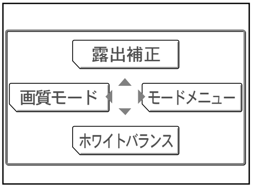


1

撮影モード（📷）で OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

▷を押して、モードメニューに入ります。



2

△または▽を押して［撮影］タブを選びます。

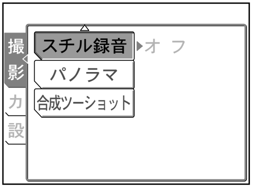
▷を押して、撮影メニューに入ります。



3

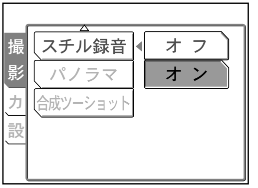
△または▽を押して［スチル録音］を選びます。

▷を押して、スチル録音の設定に入ります。



4

△または▽を押して［オン］を選び、OK ／メニューボタンを押します。

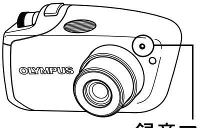


スチル録音が設定されます。

もう一度、OK ／メニューボタンを押すとメニューが終了します。

5

シャッターボタンを押して録音が始まったら、録音マイクを録音する対象に向けます。



ヒント

● スチル録音した静止画を再生するとき、再生音量を調整するとこができます。☞「音量を設定する（再生音量）」（P.96）



注　意

● 録音対象がカメラから1 m以上離れると、きれいに録音されない場合があります。
● 録音中は撮影ができません。
● 連写（P.40）／パノラマ撮影（P.42）／合成ツーショット（P.45）では、録音できません。

2 再生応用編

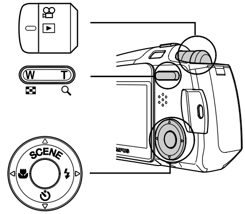
静止画・ムービー（動画）のさまざまな再生方法を説明します。

再生機能の設定を変更したい場合は「3 設定編」を参照してください。



画像を一覧で再生する（インデックス再生）

複数の画像を一覧で表示します。たくさん撮った画像の中から目的の画像を探し出したいときに便利です。一覧で表示する画像の数は切り替えることができます。☞「表示コマ数を変える（インデックス表示）」（P.51）



1 再生モードでズームボタン（側）を押します。

インデックス再生されます。



2 十字ボタンを押して画像を選びます。

◁: 前の画像へ移動します。
▷: 次の画像へ移動します。
△: 左上の画像の 1 つ前のインデックスを表示します。
▽: 右下の画像の次のインデックスを表示します。



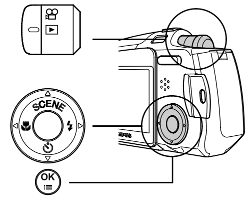
3 ズームボタン（側）を押します。

1 コマ再生に戻ります。



表示コマ数を変える（インデックス表示）

インデックス再生で一度に表示する画像の数を 4 コマ、9 コマ、16 コマから選びます。

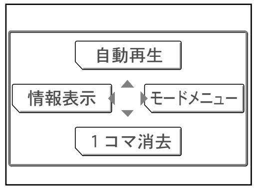


1

再生モードで OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

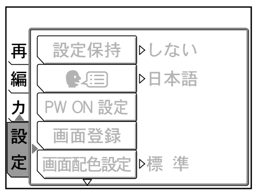
▷を押して、モードメニューに入ります。



2

△または▽を押して［設定］タブを選びます。

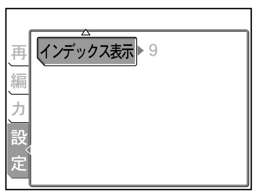
▷を押して設定メニューに入ります。



3

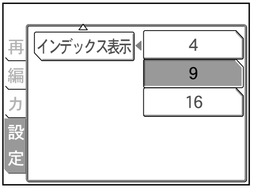
△または▽を押して［インデックス表示］を選びます。

▷を押して、インデックス表示の設定に入ります。



4

△または▽を押して［4］［9］［16］から選び、OK ／メニューボタンを押します。

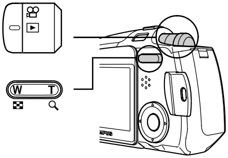


インデックス分割数が設定されます。

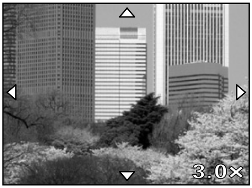
もう一度、OK ／メニューボタンを押すとメニューが終了します。

拡大して見る（拡大再生）

液晶モニタに表示される画像を 4 倍まで拡大表示します。



1 再生モードでズームボタン（Q側）を押します。



ズームボタンを押すたびに、1.5 倍／ 2.0 倍／ 2.5 倍／ 3.0 倍／ 3.5 倍／ 4.0 倍と画像を拡大して再生します。

ヒント

- 拡大再生中は、十字ボタンで見たい部分まで移動できます。

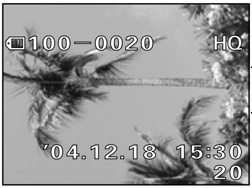
2 ズームボタン（■側）を押します。



1 倍の大きさに戻ります。

画像を回転させる（回転表示）

カメラを縦に構えて撮影して横向きに表示されている画像を、回転して縦向きに再生します。



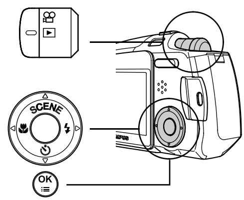
撮影時の画像



時計回りに 90 度（+90º）



反時計回りに 90 度（–90º）

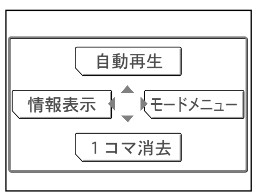


1 再生モードで回転させたい画像を再生します。

2 OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

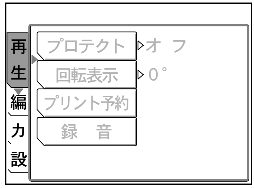
▷を押して、モードメニューに入ります。



3

△または▽を押して［再生］タブを選びます。

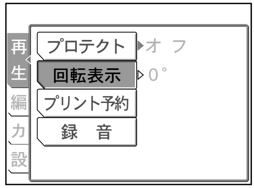
▷を押して、再生メニューに入ります。



4

△または▽を押して［回転表示］を選びます。

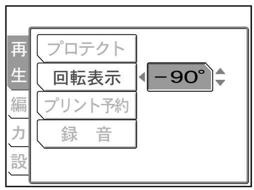
▷を押して、回転表示の設定に入ります。



5

△または▽を押して［+90º］［–90º］から選びます。

画像が回転して再生されます。



6

OK ／メニューボタンを押します。

回転した状態で画像が保存されます。

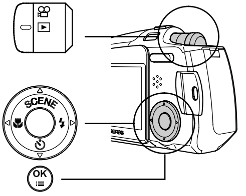
もう一度、OK ／メニューボタンを押すとメニューが終了します。

注 意

- プロテクトされた画像は回転できません。プロテクトを解除してから回転してください。☞「画像にプロテクトをかける O┳」（P.77）
- 次の画像は回転できません。
  ムービー／パソコンで編集した画像／他のカメラで撮影した画像

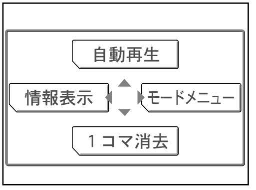
スライドショーで見る（自動再生）

カードに記録されている静止画を 1 枚ずつ自動的に再生します。ムービーは最初のフレームのみが静止画と同じように再生されます。



1 再生モードで OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。



2 △を押して、自動再生をスタートします。

約 3 秒間隔で画像が順々に再生されます。



ヒント

- スチル録音した画像は、約4秒間隔で再生されます。

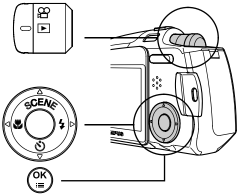
3 自動再生を終了するには、OK ／メニューボタンを押します。

注　意

- 長時間自動再生を行う場合は、別売の AC アダプタとパワーカプラーのご使用をおすすめします。電池をお使いの場合、30 分経過すると自動的に自動再生が終了し、電源が切れます。

撮影した画像に音声を録音する（録音）

撮影済みの静止画に音声を録音（アフレコ）します。また、録音済みの音声を新たに録音し直すこともできます。録音できる時間は 1 画面につき約 4 秒間です。



1

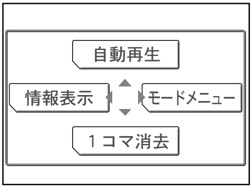
再生モードで音声を録音したい画像を再生します。

2

OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

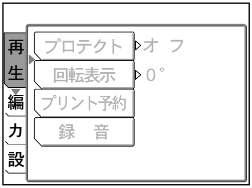
▷を押して、モードメニューに入ります。



3

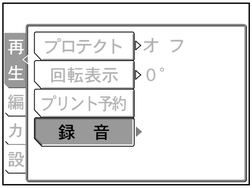
△または▽を押して［再生］タブを選びます。

▷を押して、再生メニューに入ります。



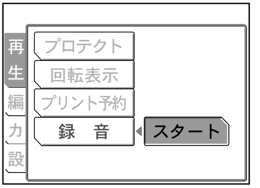
4

△または▽を押して［録音］を選びます。



5 ▷を押して［スタート］を選び、OK／メニューボタンを押します。

録音を開始します。

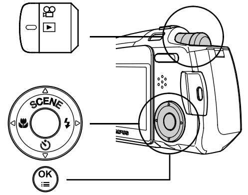


注　意

- 録音対象がカメラから約 1m 以上離れると、きれいに録音されない場合があります。
- 録音済みの画像に再度録音した場合は、前の音声が消えて新しい音声のみ残ります。
- カード残量がない場合（警告画面が表示されるカード）では、録音できないことがあります。
- 録音中にボタン操作をすると操作音が録音されることがあります。
- 一度録音したら音声のみ消すことはできません。音声を入れず（無音状態）再録音してください。

ムービーを再生する

ムービーをカメラの液晶モニタで再生して楽しむことができます。
再生モードにすると、最後に撮影した画像が液晶モニタに表示されます。🎥マークの付いた画像を選んで再生します。

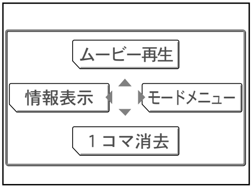


1 再生モードで 🎥 マークの付いた画像を十字ボタンを押して選びます。



2 OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。



3 △を押して、［ムービー再生］を選びます。

ムービーが再生されます。



ヒント

- 再生時間／録画時間が液晶モニタに表示されます。
- ムービーを再生するまでの時間は、ムービーの記録時間や画質モードによって異なります。
- 再生中に以下の操作ができます。
  ◁:早戻し
  ▷:早送り
  △:音量を上げる
  ▽:音量を下げる
  OK ／メニューボタン：一時停止

2 再生応用編

ムービーを再生する ▶

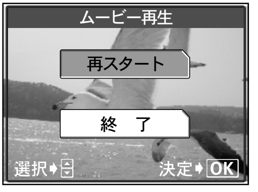
- 一時停止中に以下の操作ができます。
  ◁:押している間逆に再生
  ▷:押している間再生
  △:先頭のコマを表示
  ▽:末尾のコマを表示
  OK／メニューボタン:ムービー再生メニューを表示



4

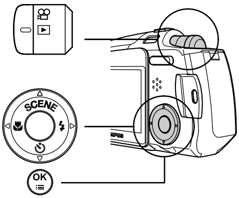
再生終了後にムービー再生メニューが表示されます。
△または▽を押して[再スタート][終了] から選び、OK ／メニューボタンを押します。

再スタート	もう一度再生します。
終了	再生を終了します。



インデックスを作成する

撮影したムービーの内容が一目でわかるように自動的に 9 分割し、静止画（インデックス）として保存します。

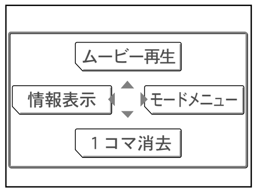


1 再生モードで マークの付いた画像を再生します。

2 OK ／メニューボタンを押します。

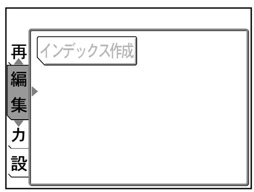
トップメニューが表示されます。

▷を押して、モードメニューに入ります。



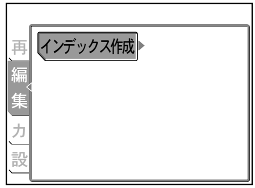
3 △または▽を押して［編集］タブを選びます。

▷を押して、編集メニューに入ります。



4

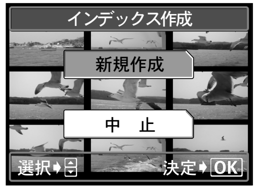
▷を押してインデックス作成の設定に入ります。



5

△または▽を押して［新規作成］を選び、OK ／メニューボタンを押します。

処理が終わると、新規の静止画像として保存されます。



ヒント

- インデックス作成された画像は、ムービー撮影時の画質とは異なる静止画として保存されます。

ムービー撮影時の画質モード	インデックス画像の画質
HQ	SQ2（1024 × 768 ピクセル）
SQ	SQ2（640 × 480 ピクセル）

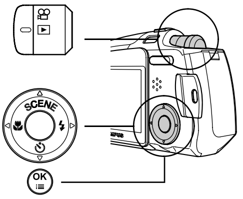
注　意

- ムービーの記録時間により、自動的に抜き出される画像の間隔は異なります。

テレビで再生する

撮影した画像をテレビで楽しむことができます。テレビで再生するには、付属の AV ケーブルでカメラとテレビを接続します。

お使いのテレビの映像信号に合わせて、NTSC または PAL を選びます。海外でテレビに接続して再生するときは、設定を合わせてください。



ヒント

各国と地域のテレビ映像信号

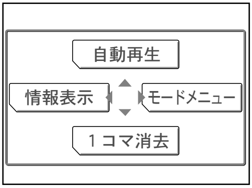
- NTSC：日本、台湾、韓国、北米　　PAL：ヨーロッパ諸国、中国

1

再生モードで OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

▷を押して、モードメニューに入ります。



2

△または▽を押して［設定］タブを選びます。

▷を押して、設定メニューに入ります。



3

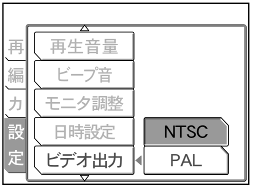
△または▽を押して［ビデオ出力］を選びます。

▷を押して、ビデオ出力の設定に入ります。



4

△または▽を押して［NTSC］または［PAL］を選び、OK／メニューボタンを押します。



ビデオ出力が設定されます。

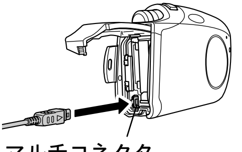
もう一度、OK ／メニューボタンを押すとメニューが終了します。

5

カメラとテレビの電源を切ります。

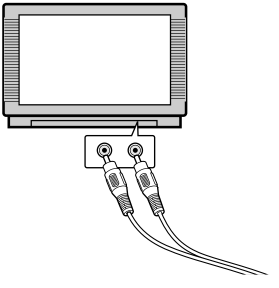
6

カメラのマルチコネクタに AV ケーブルを差し込みます。



7

テレビの映像（黄色）／音声（白色）入力端子に AV ケーブルを差し込みます。



ヒント

- テレビの映像／音声入力端子については、テレビの説明書をご覧ください。

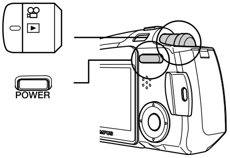
2 再生応用編

8 テレビの電源を入れて、「ビデオ入力」に設定します。

ヒント

- ビデオ入力の切り替え方法については、テレビの説明書をご覧ください。

9 再生モードでパワースイッチを押して、電源を入れます。



テレビに表示されます。



ヒント

- カメラは通常の再生モードと同じように、再生操作ができます。
- テレビで再生する場合は、別売の AC アダプタとパワーカプラーのご使用をおすすめします。
- AV ケーブルを取り外すときは、カメラのパワースイッチを押して電源を切ってから AV ケーブルを抜いてください。

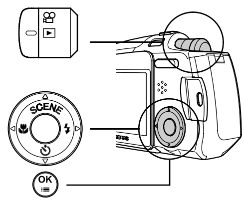
画像の情報量を切り替える（情報表示）

撮影時の画像情報量を切り替えます。

詳細な情報表示	通常の情報表示
	

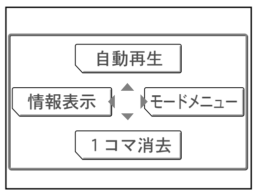
ヒント

- 情報表示は、約 3 秒間表示されます。



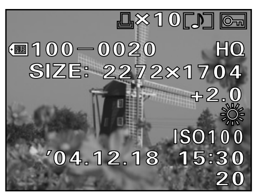
1 再生モードで OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。



2 ◁ を押して、［情報表示］を選びます。

詳細な情報表示に切り替わります。



ヒント

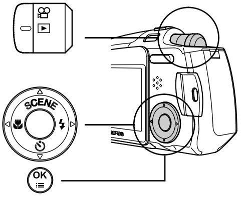
- もう一度、手順 1、2 を行うと通常の情報表示に戻ります。

画像を編集する

ソフトフォーカス画像を作成する

撮影した画像にソフトフォーカス効果を施し、オリジナルの画像とは別の新規画像として保存します。
ソフトフォーカスでは、全体を適度にぼかし、雰囲気のある画像を作成できます。





1

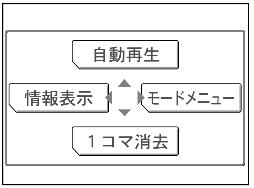
再生モードでソフトフォーカスにしたい画像を再生します。

2

OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

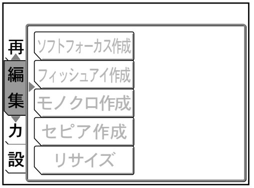
▷を押して、モードメニューに入ります。



3

△または▽を押して［編集］タブを選びます。

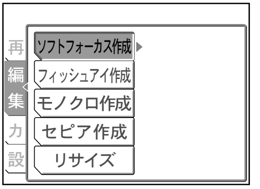
▷を押して、編集メニューに入ります。



4

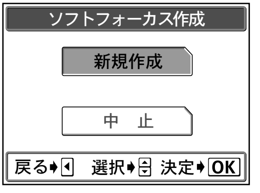
△または▽を押して［ソフトフォーカス作成］を選びます。

▷を押して、ソフトフォーカス作成の設定に入ります。



5

△または▽を押して［新規作成］を選びます。



6

OK／メニューボタンを押してソフトフォーカス画像を作成します。

処理が終わると、オリジナル画像とは別の新規画像として保存します。

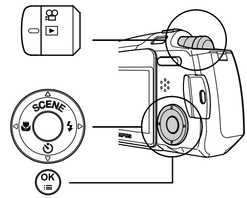
注　意

- カードに空き容量がない場合は作成できません。

フィッシュアイ画像を作成する

撮影した画像にフィッシュアイ効果を施し、オリジナルの画像とは別の新規画像として保存します。
フィッシュアイでは、球面状に変形させた画像を作成できます。



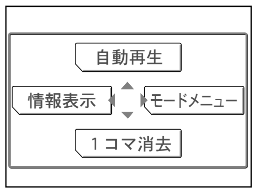


1 再生モードでフィッシュアイにしたい画像を再生します。

2 OK ／メニューボタンを押します。

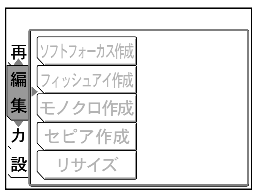
トップメニューが表示されます。

▷を押して、モードメニューに入ります。



3 △または▽を押して［編集］タブを選びます。

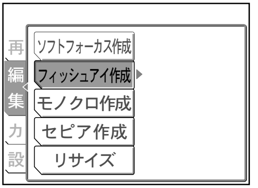
▷を押して、編集メニューに入ります。



4

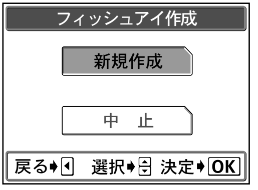
△または▽を押して[フィッシュアイ作成]を選びます。

▷を押して、フィッシュアイ作成の設定に入ります。



5

△または▽を押して［新規作成］を選びます。



6

OK／メニューボタンを押してフィッシュアイ画像を作成します。

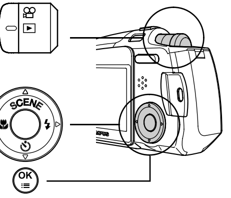
処理が終わると、オリジナル画像とは別の新規画像として保存します。

注　意

- カードに空き容量がない場合は作成できません。

モノクロにする

撮影した画像をモノクロ（白黒）に変換して、オリジナルの画像とは別の新規画像として保存します。

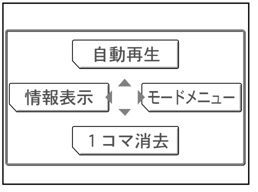


1 再生モードでモノクロ（白黒）にしたい画像を再生します。

2 OK ／メニューボタンを押します。

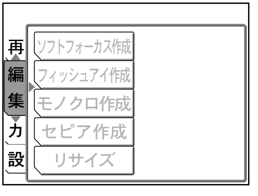
トップメニューが表示されます。

▷を押して、モードメニューに入ります。



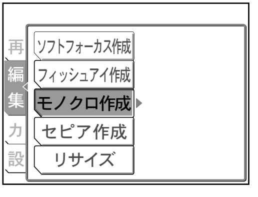
3 △または▽を押して［編集］タブを選びます。

▷を押して、編集メニューに入ります。



4 △または▽を押して［モノクロ作成］を選びます。

▷を押して、モノクロ作成の設定に入ります。



5 △または▽を押して［新規作成］を選びます。



6 OK ／メニューボタンを押してモノクロ画像を作成します。

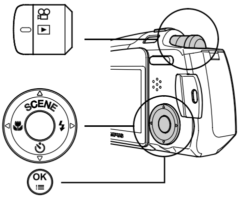
処理が終わると、オリジナル画像とは別の新規画像として保存します。

注　意

- カードに空き容量がない場合は作成できません。

セピア色にする

撮影した画像をセピア色に変換して、オリジナルの画像とは別の新規画像として保存します。



1

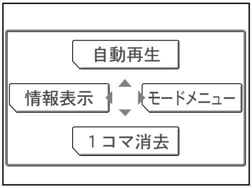
再生モードでセピアにしたい画像を再生します。

2

OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

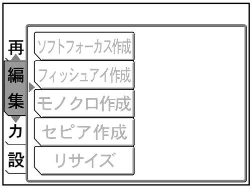
▷を押して、モードメニューに入ります。



3

△または▽を押して［編集］タブを選びます。

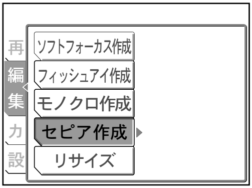
▷を押して、編集メニューに入ります。



4

△または▽を押して［セピア作成］を選びます。

▷を押して、セピア作成の設定に入ります。



5 △または▽を押して［新規作成］を選びます。



6 OK ／メニューボタンを押してセピア画像を作成します。

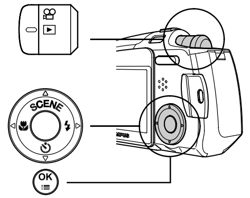
処理が終わると、オリジナル画像とは別の新規画像として保存されます。

注　意

- カードに空き容量がない場合は作成できません。

サイズを変える（リサイズ）

撮影した画像のサイズを変更して、オリジナルの画像とは別の新規画像として保存します。Web の掲載やeメールへの添付などは、小さなサイズにすると便利です。

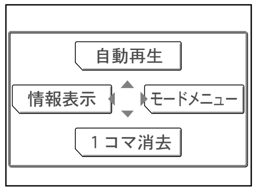


1 再生モードでリサイズしたい画像を再生します。

2 OK ／メニューボタンを押します。

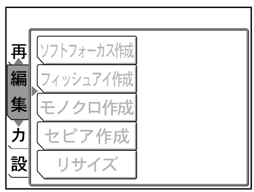
トップメニューが表示されます。

▷を押して、モードメニューに入ります。



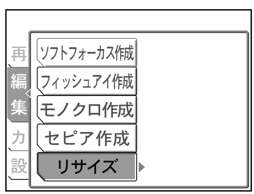
3 △または▽を押して［編集］タブを選びます。

▷を押して、編集メニューに入ります。

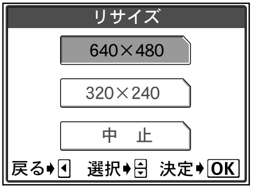


4 △または▽を押して［リサイズ］を選びます。

▷を押して、リサイズの設定に入ります。



5 △または▽を押して画像サイズを選びます。



6 OK ／メニューボタンを押してリサイズした画像を作成します。

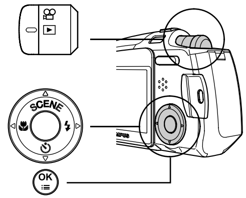
処理が終わると、オリジナル画像とは別の新規画像として保存されます。

注　意

- カードに空き容量がない場合は作成できません。
- 撮影時の画像サイズが640 × 480の場合、[640 × 480]の設定はできません。

画像にプロテクトをかける

大切な画像を誤って消去しないように、プロテクト（保護）をかけることができます。1コマ消去や全コマ消去の操作をしても、プロテクトされた画像は消去されません。



注 意

● フォーマットを行うとプロテクトされた画像も消去されます。☞「カードを初期化する（フォーマット）」（P.107）

1

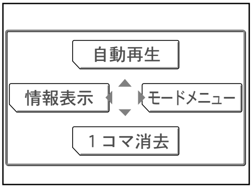
再生モードでプロテクトをかけたい画像を再生します。

2

OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

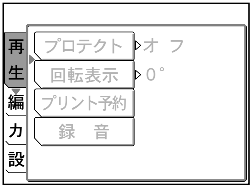
▷を押して、モードメニューに入ります。



3

△または▽を押して［再生］タブを選びます。

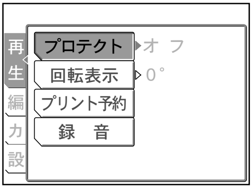
▷を押して、再生メニューに入ります。



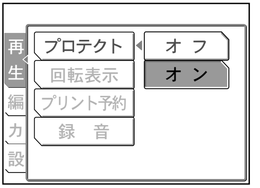
4

△または▽を押して［プロテクト］を選びます。

▷を押して、プロテクトの設定に入ります。



5 △または▽を押して［オン］を選びます。



ヒント

- プロテクトを解除するときは［オフ］を選びます。

6 OK ／メニューボタンを押します。

選んだ画像がプロテクト（保護）されます。

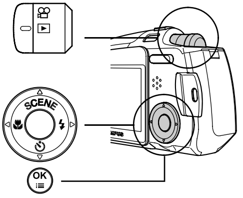


ヒント

- 画面に マークが表示されます。

画像を 1 コマ消去する

デジタルカメラは不要な画像をすぐに消去することができます。



ヒント

- カード内のすべての画像を一度に消去することもできます。
  ☞「画像を全コマ消去する」（P.80）
- プロテクト（保護）がかかっている画像は消去できません。
  ☞「画像にプロテクトをかける O┳」（P.77）

注　意

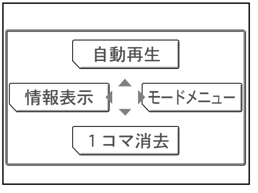
- 消去した画像は元に戻せません。

1 再生モードで消去したい画像を選びます。

2 OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

▽を押して、[1 コマ消去] を選びます。



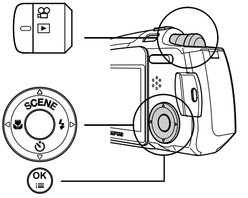
3 △を押して［消去］を選び、OK ／メニューボタンを押します。

再生している画像が消去されます。



画像を全コマ消去する

カードに記録されているすべての画像を消去します。



ヒント

- プロテクト（保護）がかかっている画像は消去できません。
  ☞「画像にプロテクトをかける O┳┳」(P.77)

注　意

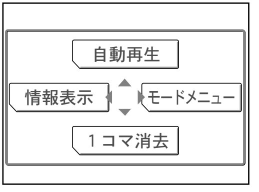
- 消去した画像は元に戻せません。

1

再生モードで OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

▷を押して、モードメニューに入ります。



2

△または▽を押して［カード］タブを選びます。

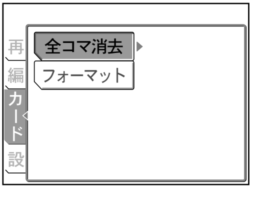
▷を押して、カードメニューに入ります。



3

△または▽を押して［全コマ消去］を選びます。

▷を押します。



4 △を押して［消去］を選び、OK ／メニューボタンを押します。

すべての画像が消去されます。



MEMO

3 設 定 編

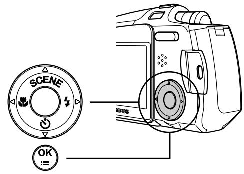
撮影・再生に関する各種設定と変更方法を説明します。

「撮影モード」と「再生モード」で同じ設定ができる場合は、「撮影モード」の液晶画面のイラストを使用しています。



液晶モニタに表示される言語を設定する

液晶モニタに表示されるメニューやエラーメッセージを日本語以外の言語に変更することができます。

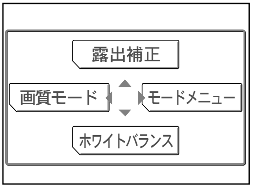


1

OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

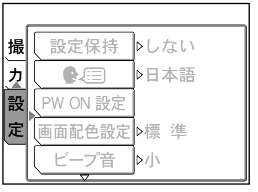
▷を押して、モードメニューに入ります。



2

△または▽を押して［設定］タブを選びます。

▷を押して、設定メニューに入ります。



3

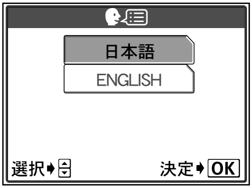
△または▽を押して［］を選びます。

▷を押して、の設定に入ります。



4

△または▽を押して表示したい言語を選びます。



5

OK ／メニューボタンを押します。

選んだ言語が設定されます。

もう一度、OK ／メニューボタンを押すとメニューが終了します。

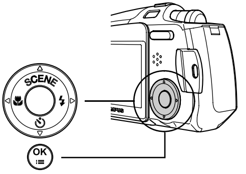
ヒント

- 表示する言語を増やすことができます。
  オリンパスホームページ（http://www.olympus.co.jp/）で追加する言語のフォームウェアを配信しています。詳しくは、オリンパスホームページをご覧ください。

日付・時刻を設定する（日時設定）

日付・時刻を設定します。

パソコンで管理するときや、プリントするときに便利です。

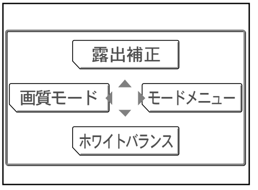


1

OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

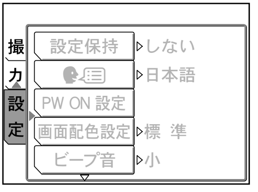
▷を押して、モードメニューに入ります。



2

△または▽を押して［設定］タブを選びます。

▷を押して、設定メニューに入ります。



3

△または▽を押して［日時設定］を選びます。

▷を押して、日時設定に入ります。

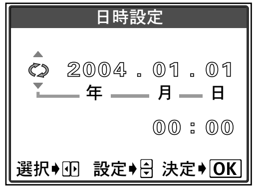


3 設定編

4

△または▽を押して日付の表示順を、［年 - 月 - 日］［月 - 日 - 年］［日 - 月 - 年］から選びます。

▷を押して、年の入力に移動します。



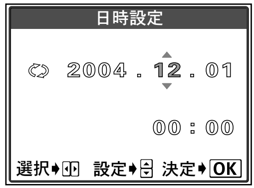
ヒント

- 以降の手順は［年 - 月 - 日］に設定した場合の説明です。

5

△または▽を押して年の下2ケタをそれぞれ設定します。
▷を押すと、月の設定に進みます。

操作を繰り返し、時刻まで設定します。

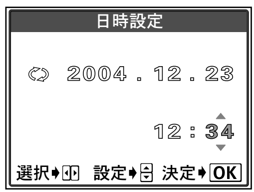


ヒント

- 時刻は 24 時間形式で表示されます。たとえば、「PM1:00」ではなく「13:00」のように表示されます。

6

OK ／メニューボタンを押します。



ヒント

- 0秒の時報に合わせてOK／メニューボタンを押すと、正確に時間を合わせられます。時計はこのとき動き始めます。

もう一度、OK ／メニューボタンを押すとメニューが終了します。

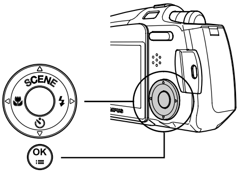
注　意

- 電池を外して約1日放置すると、日時設定は初期状態に戻ります。

設定を記憶するには（設定保持）

変更した撮影条件などの設定を、カメラに記憶（設定保持）させることができます。

しない	変更した設定は、電源を切ると工場出荷時の初期値に戻ります。
する	変更した設定は、電源を切っても記憶されます。



ヒント

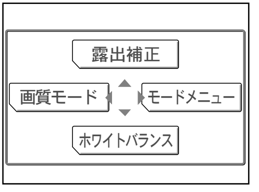
- ご購入時は、「設定保持：しない」に設定されています。
- 設定保持が適用される機能については、☞P.89 をご覧ください。

1

OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

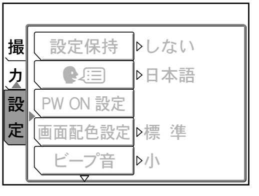
▷を押して、モードメニューに入ります。



2

△または▽を押して［設定］タブを選びます。

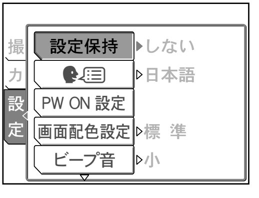
▷を押して、設定メニューに入ります。



3

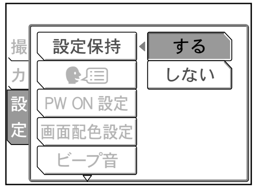
△または▽を押して［設定保持］を選びます。

▷を押して、設定保持の設定に入ります。



4

△または▽を押して［する］を選びます。



5

OK ／メニューボタンを押します。

設定保持が［する］に設定されます。

もう一度、OK ／メニューボタンを押すとメニューが終了します。

●「設定保持：しない」で設定が元に戻る機能とその設定

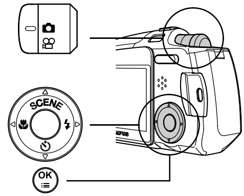
機能名	初期設定	参照ページ
撮影シーン	P オート	P.14
フラッシュ	オート発光	P.23
マクロ、スーパーマクロ	マクロオフ	P.37
露出補正	0.0	P.32
画質モード	HQ	P.25
測光	ESP	P.35
ドライブ	単写	P.40
ISO 感度	オート	P.33
デジタルズーム	オフ	P.21
スチル録音	オフ	P.47
AF 方式	スポット	P.12
ホワイトバランス	オート	P.30

ヒント

- 上記以外の設定は、常に保持されます。
- すべての初期設定（工場出荷時の設定）は、☞「メニュー一覧」（P.178 ～ 181）をご覧ください。

撮影直後に画像を確認するには（レックビュー）

撮影した直後に画像を液晶モニタに表示するかどうかを設定します。レックビューを［オン］に設定すると撮影と撮影の間の数秒間に今撮った画像が再生されるので、撮るたびにチェックすることができます。チェックせず、すぐに次の撮影をしたいときは、レックビューを［オフ］に設定してください。

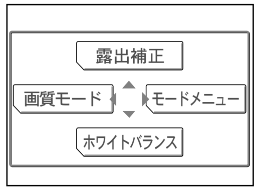


1

撮影モード（📷）で OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

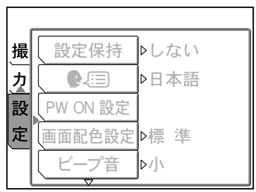
▷を押して、モードメニューに入ります。



2

△または▽を押して［設定］タブを選びます。

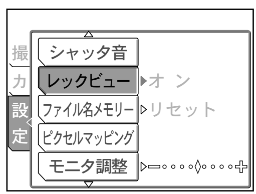
▷を押して、設定メニューに入ります。



3

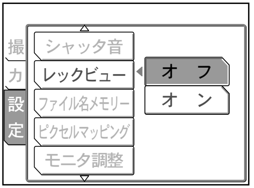
△または▽を押して［レックビュー］を選びます。

▷を押して、レックビューの設定に入ります。



4

△または▽を押して［オフ］または［オン］を選び、OK ／メニューボタンを押します。



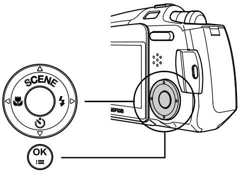
もう一度、OK ／メニューボタンを押すとメニューが終了します。

注 意

- ムービー撮影モードでは、レックビューの設定はできません。
- 連写モードでは、レックビュー表示されません。

操作音／警告音を設定するには（ビープ音）

カメラが発する警告音やボタンを押したときの操作音を小さくしたり、消すことができます。

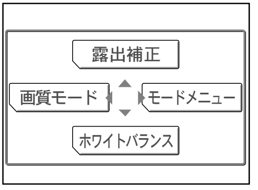


1

OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

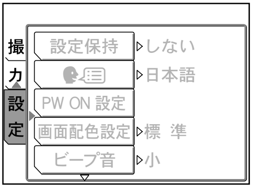
▷を押して、モードメニューに入ります。



2

△または▽を押して［設定］タブを選びます。

▷を押して、設定メニューに入ります。



3

△または▽を押して［ビープ音］を選びます。

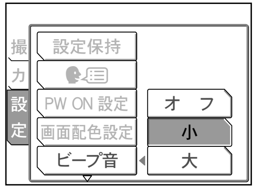
▷を押して、ビープ音の設定に入ります。



3
設定編

4

△または▽を押して［オフ］または［小］、［大］を選びます。



ヒント

- 音を消す場合は［オフ］を設定します。

5

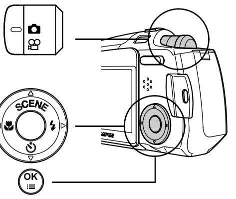
OK ／メニューボタンを押します。

ビープ音が設定されます。

もう一度、OK ／メニューボタンを押すとメニューが終了します。

シャッター音を設定する（シャッタ音）

シャッターボタンを押して撮影したときに発するシャッター音の音色を 3 種類から選びます。さらに、それぞれの音量を「大」「小」から選択できます。

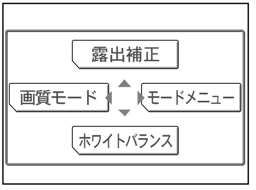


1

撮影モード（📷）で OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

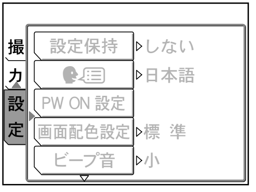
▷を押して、モードメニューに入ります。



2

△または▽を押して［設定］タブを選びます。

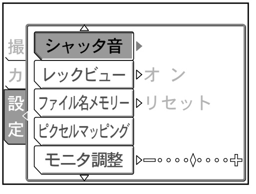
▷を押して、設定メニューに入ります。



3

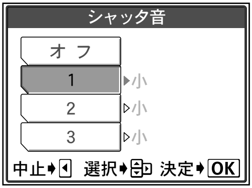
△または▽を押して［シャッタ音］を選びます。

▷を押して、シャッター音の設定に入ります。



4 △または▽を押して［オフ］または［1］、［2］、［3］を選びます。

［1］［2］［3］を選んだ場合は、▷を押して、音量を選びます。

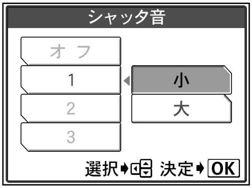


ヒント

- 音を消す場合は「オフ」に設定してください。

5 △または▽を押して［大］または［小］を選び、OK ／メニューボタンを押します。

さらに OK ／メニューボタンを 2 回押すとメニューが終了します。



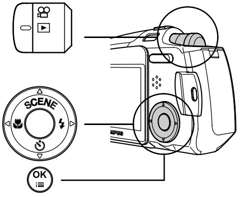
シャッター音が設定されます。

注　意

- ムービー撮影モードでは、シャッター音の設定はできません。

音量を設定する（再生音量）

静止画撮影時に録音した音声や、ムービー再生時の音量を設定します。

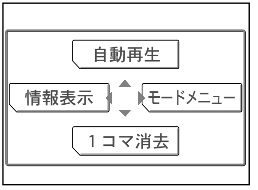


1

再生モードで OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

▷を押して、モードメニューに入ります。



2

△または▽を押して［設定］タブを選びます。

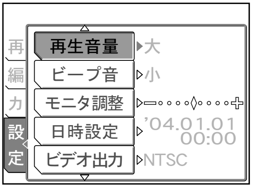
▷を押して、設定メニューに入ります。



3

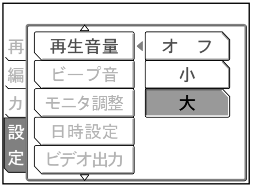
△または▽を押して［再生音量］を選びます。

▷を押して、再生音量の設定に入ります。



3 設定編

4 △または▽を押して[大]または[小]、［オフ］を選びます。



ヒント

- 音を消す場合は［オフ］を設定します。

5 OK ／メニューボタンを押します。

再生音量が設定されます。

もう一度、OK ／メニューボタンを押すとメニューが終了します。

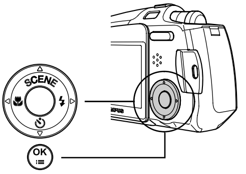
ヒント

- 録音した画像を再生中、液晶モニタに［♪］が表示されます。

起動時の画面と音量を設定する（PW ON設定）

電源を入れたときに表示される画面と音量を設定します。自分で画面を登録して設定することもできます。

☞「起動時に表示される画面を登録する（画面登録）」（P.100）

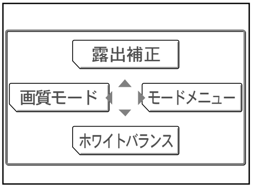


1

OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

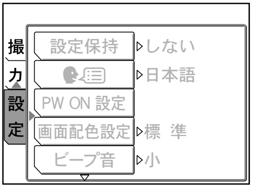
▷を押して、モードメニューに入ります。



2

△または▽を押して［設定］タブを選びます。

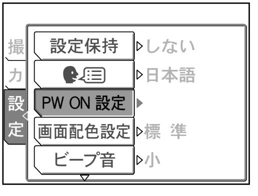
▷を押して、設定メニューに入ります。



3

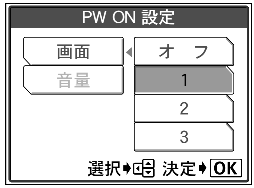
△または▽を押して［PW ON 設定］を選びます。

▷を押して、PW ON 設定に入ります。



4

△または▽を押して［画面］を選び、▷を押します。



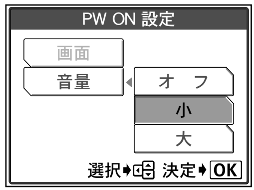
△または▽を押して［オフ］または［1］［2］［3］を選び、OK ／メニューボタンを押します。

ヒント

- ［3］は自分で登録した画像が選択できます。
  何も登録されていないと、電源を入れたときに何も表示されません。

5

△または▽を押して［音量］を選び、▷を押します。



△または▽を押して［オフ］または［大］［小］を選びます。

ヒント

- ［画面］を［オフ］に設定した場合は、［音量］の設定はできません。

6

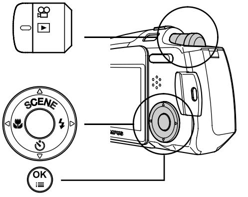
OK ／メニューボタンを押します。

さらに OK ／メニューボタンを 2 回押すとメニューが終了します。

画面と音量が設定されます。

起動時に表示される画面を登録する（画面登録）

電源を入れたときに表示される画面を登録します。カードに保存されている画像から登録することができます。

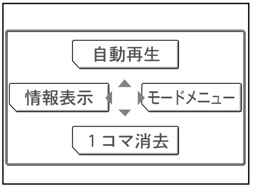


1

再生モードで OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

▷を押して、モードメニューに入ります。



2

△または▽を押して［設定］タブを選びます。

▷を押して、設定メニューに入ります。



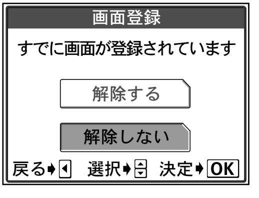
3

△または▽を押して［画面登録］を選びます。

▷を押して、画面登録の設定に入ります。



すでに画面が登録されているときは、右の画面が表示されます。
画面を登録する場合は、△または▽を押して［解除する］を選び、OK ／メニューボタンを押します。



3
設定編

4

十字ボタンで登録する画像を選び、OK ／メニューボタンを押します。

5

△または▽を押して［決定］を選び、OK ／メニューボタンを押します。



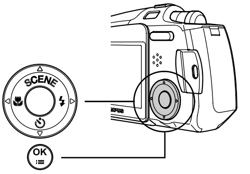
もう一度、OK ／メニューボタンを押すとメニューが終了します。

ヒント

- ここで登録された画面は、「PW ON 設定」の［3］に登録されます。
  ☞「起動時の画面と音量を設定する（PW ON設定）」（P.98）
- ムービーは画面登録できません。

画面の色を設定する（画面配色設定）

液晶モニタに表示される設定画面の色を［標準］［ソフィア］［ナチュラル］［フューチャー］の 4 パターンから選択することができます。

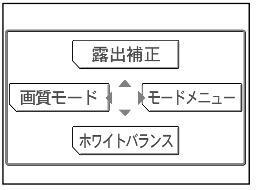


1

OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

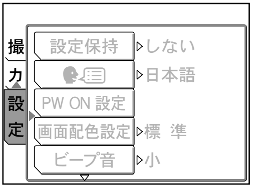
▷を押して、モードメニューに入ります。



2

△または▽を押して［設定］タブを選びます。

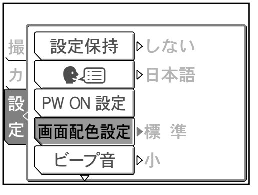
▷を押して、設定メニューに入ります。



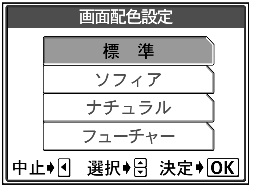
3

△または▽を押して［画面配色設定］を選びます。

▷を押して、画面配色設定に入ります。



4 △または▽を押して［標準］または［ソフィア］［ナチュラル］［フューチャー］から選びます。



5 OK ／メニューボタンを押します。

画面配色が設定されます。

もう一度、OK ／メニューボタンを押すとメニューが終了します。

ファイル名を通し番号にする（ファイル名メモリー）

カードに記録されている画像には、ファイル名とそのファイルが入るフォルダ名がカメラ内部で自動的に付けられています。ファイル名とフォルダ名はそれぞれファイル№.(0001-9999)、フォルダ№.(100-999)を含み、以下のように付けられます。

フォルダ名　ファイル名

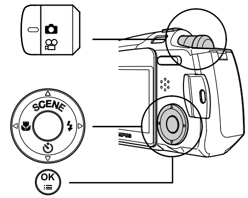
￥DCIM￥***OLYMP￥Pmdd****.JPG

フォルダ No.（100 ～ 999）
月（1 ～ C）
日（01 ～ 31）
ファイル No.（0001 ～ 9999）

● ファイル名の「月」の表記は、1 月～ 9 月は 1 ～ 9、10 月は A、11 月は B、12 月は C となります。

フォルダ№.とファイル№.の付け方は、［リセット］［オート］の 2 種類あります。パソコンで画像を取り込む際に、扱いやすい方をお選びください。

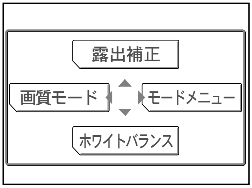
リセット	カードを入れ換えたときにフォルダ№.、ファイル№.が両方ともリセットされます。フォルダ№.は「№.100」に、ファイル№.は「№.0001」に戻ります。**カード別に画像を管理するときに便利です**。
オート	カードを入れ換えても、フォルダ№.、ファイル№.とも前のカードから継続されます。複数のカードを管理するときでも、ファイル名が重複することがありません。**すべての画像を通し番号で管理するのに便利です**。



1

撮影モードで OK ／メニューボタンを押します。

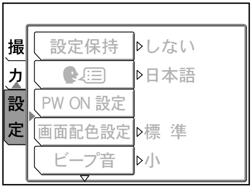
トップメニューが表示されます。



▷を押して、モードメニューに入ります。

2

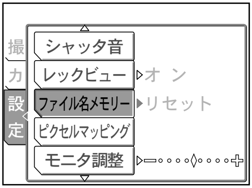
△または▽を押して［設定］タブを選びます。



▷を押して、設定メニューに入ります。

3

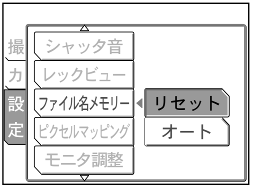
△または▽を押して［ファイル名メモリー］を選びます。



▷を押して、ファイル名メモリーの設定に入ります。

4

△または▽を押して［リセット］または［オート］を選びます。



5

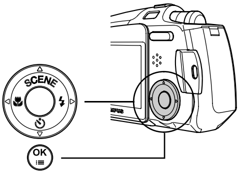
OK ／メニューボタンを押します。

ファイル名メモリーが設定されます。

もう一度、OK ／メニューボタンを押すとメニューが終了します。

カードを初期化する（フォーマット）

フォーマットとは、カードをカメラに適した状態にすることです。パソコンや他のカメラでフォーマットしたカードは正しく動作しないことがありますので、必ずこのカメラでフォーマットしてください。



注　意

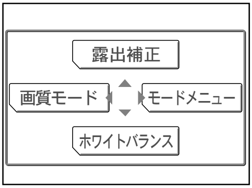
- フォーマットをするとプロテクトをかけた画像を含むすべてのデータは消去されます。すでに使用しているカードをフォーマットするときは、大切なデータを消さないようご注意ください。

1

OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

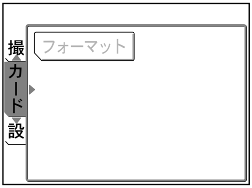
▷を押して、モードメニューに入ります。



2

△または▽を押して［カード］タブを選びます。

▷を押して、カードメニューに入ります。



3

▷を押します。

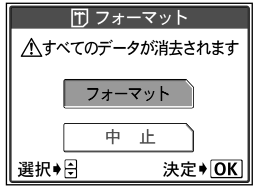


ヒント

- 撮影モードの場合、フォーマット画面が表示されます。
- 再生モードの場合、△または▽を押して［フォーマット］を選び、OK ／メニューボタンを押すと、フォーマット画面が表示されます。

4

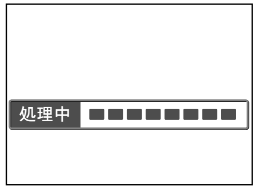
△を押して［フォーマット］を選びます。



5

OK ／メニューボタンを押します。

画面に処理中のバーが表示され、フォーマットされます。

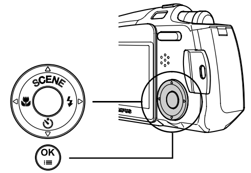


注　意

- フォーマット中は、絶対にカードカバーを開けたり、電池や AC アダプタ／パワーカプラーの抜き差しをしないでください。カードが使用できなくなるおそれがあります。

液晶モニタの明るさを調整する（モニタ調整）

液晶モニタの明るさを見やすいように調整します。

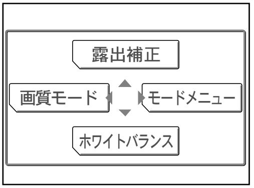


1

OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

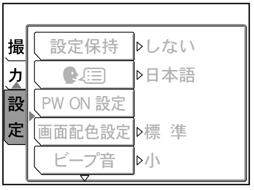
▷を押して、モードメニューに入ります。



2

△または▽を押して［設定］タブを選びます。

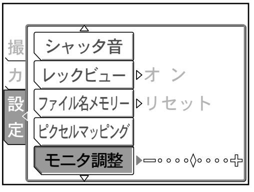
▷を押して、設定メニューに入ります。



3

△または▽を押して［モニタ調整］を選びます。

▷を押して、モニタ調整に入ります。



4 液晶モニタを見ながら△または▽を押して明るさを調整します。



ヒント

- △を押すと明るくなり、▽を押すと暗くなります。

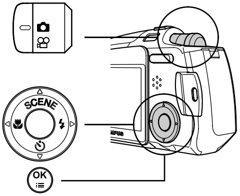
5 OK ／メニューボタンを押します。

明るさが設定されます。

もう一度、OK ／メニューボタンを押すとメニューが終了します。

画像処理機能を調整する（ピクセルマッピング）

CCDと画像処理機能の調整を行います。調整は年に一度を目安とし、最適な効果を得るため、撮影・再生直後より 1 分程度経過した後に実行してください。



ヒント

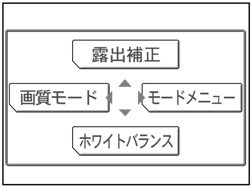
- この機能はすでに工場出荷時に調整済みのため、お買い上げ後すぐに調整する必要はありません。

1

撮影モードで OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

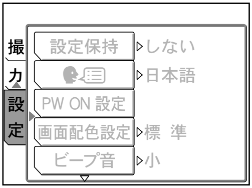
▷を押して、モードメニューに入ります。



2

△または▽を押して［設定］タブを選びます。

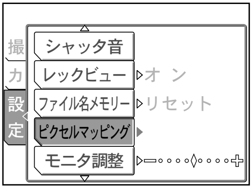
▷を押して、設定メニューに入ります。



3

△または▽を押して［ピクセルマッピング］を選びます。

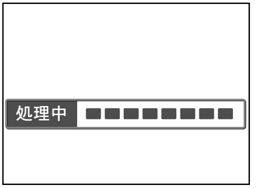
▷を押して、ピクセルマッピングの設定に入ります。



4 OK ／メニューボタンを押します。

ピクセルマッピング処理中のバーが表示され、カメラが調整されます。

もう一度、OK ／メニューボタンを押すとメニューが終了します。



注　意

誤って処理中にカメラの電源を切ってしまった場合は、はじめから操作をやり直してください。

4 印　刷　編

カメラで撮影した画像のプリントについて､プリント予約（DPOF）をする方法と、PictBridge 対応プリンタでプリントする方法に分けて説明します。

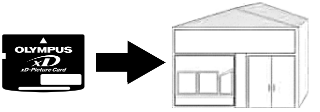


プリント方法を選ぶ

パソコンを使わないでプリントする

➔ 写真店のプリントサービスを利用します。

- カードの中の画像を写真店でプリントしてもらうことができます。あらかじめカメラでプリント予約をすると、予約内容のとおりにプリントできます。



☞「プリント予約（DPOF）をする 凸」（P.115）

➔ ダイレクトプリントします。

- カメラをPictBridge対応プリンタにUSBケーブルで接続して、撮影した画像を直接プリントします。

☞「PictBridge 対応プリンタでプリントする」（P.122）

DPOF を使用せずにプリントサービスを利用される方へ

写真店などのプリントサービスをご利用になる場合は、プリントする画像は必ずファイル番号で指定してください。コマ番号で指定すると間違った画像がプリントされる場合があります。

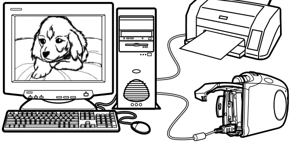
（例）　FILE　100-0016

フォルダの通し番号　画像の通し番号

パソコンを使ってプリントする

➔ パソコンに接続しているプリンタでプリントします。

- カードの画像をパソコンに取り込み、プリントすることができます。OLYMPUS Master を使うと、簡単にプリントできます。
OLYMPUS Master を使ってのプリント方法については、OLYMPUS Master の取扱説明書をご覧ください。



☞「付属の OLYMPUS Master を使う」（P.139）

プリント予約（DPOF）をする

プリント予約とは、プリントする画像や枚数などを指定し、カードに指定した内容を記憶させることです。プリント予約したカードを DPOF 対応の写真店に持っていくと、予約内容のとおりにプリントができます。ご家庭でも DPOF 対応のプリンタがあればプリントできます。

予約方法は、すべての画像を予約する［全コマ予約］と、画像を1枚ずつ選びながら予約する［1 コマ予約］があります。

☞「全コマ予約する」（P.116）
☞「1 コマ予約する」（P.118）

DPOF とは？

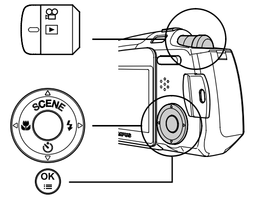
Digital Print Order Format の略称。デジタルカメラで撮影した画像の中からプリントする画像や枚数、日時の情報を記録する形式です。DPOF 形式でプリント予約した内容はカードに保存されます。

注　意

- プリント予約できる枚数は、1 枚のカードにつき 999 コマまでです。
- プリント予約は、カードに予約を記録するときに時間がかかることがあります。
- 他の DPOF 機器で設定された DPOF 予約内容をこのカメラで変更することはできません。予約した機器で変更してください。
- 他の機器でDPOF予約されているファイルがある場合、このカメラで新たに DPOF 予約を行うと、以前に予約した内容は消去されます。

全コマ予約する

すべての画像をプリント予約します。撮影日または撮影時刻をプリント指定することができます。予約枚数は各 1 枚です。枚数を変更する場合は 1 コマ予約をしてください。



ヒント

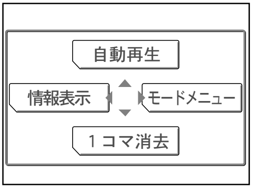
- 🎥（ムービー）マークのついた画像はプリント予約できません。

1

再生モードで OK ／メニューボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

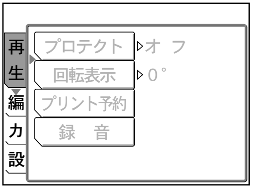
▷を押して、モードメニューに入ります。



2

△または▽を押して［再生］タブを選びます。

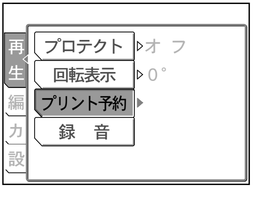
▷を押して、再生メニューに入ります。



3

△または▽を押して［プリント予約］を選びます。

▷を押して、プリント予約の設定に入ります。

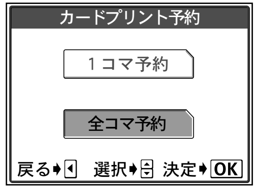


ヒント

- すでにプリント予約がされていると、予約を解除するか確認する画面が表示されます。

4

△または▽を押して［全コマ予約］を選び、OK ／メニューボタンを押します。



5

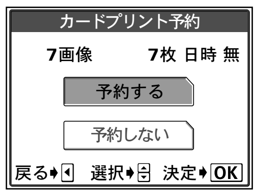
△または▽を押して、日時をプリントするか選び、OK ／メニューボタンを押します。



無し： 画像のみプリントされます。
日付： 画像といっしょに撮影年月日がプリントされます。
時刻： 画像といっしょに撮影時刻がプリントされます。

6

△または▽を押して［予約する］を選び、OK ／メニューボタンを押します。

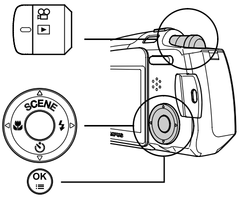


予約内容がカードに保存されます。

もう一度、OK ／メニューボタンを押すとメニューが終了します。

1 コマ予約する

画像を1枚ずつ選びながら予約します。プリントする枚数を指定することができます。また、すでに予約した内容を変更することができます。



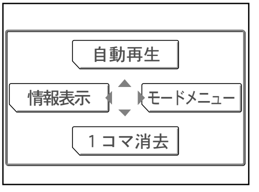
ヒント

- （ムービー）マークのついた画像はプリントできません。

1 再生モードで OK ／メニューボタンを押します。

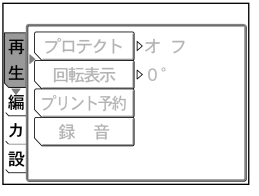
トップメニューが表示されます。

▷を押して、モードメニューに入ります。



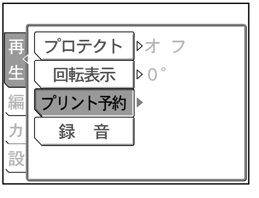
2 △または▽を押して［再生］タブを選びます。

▷を押して、再生メニューに入ります。



3 △または▽を押して［プリント予約］を選びます。

▷を押して、プリント予約の設定に入ります。

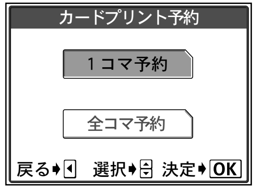


ヒント

- すでにプリント予約がされていると、予約を解除するか確認する画面が表示されます。

4

△または▽を押して［1 コマ予約］を選び、OK ／メニューボタンを押します。



5

◁または▷を押してプリント指定する画像を選びます。

△または▽を押して、プリントする枚数を選びます。



ヒント

- 最大 10 枚まで予約できます。0 枚の設定ではプリント予約されません。

6

OK ／メニューボタンを押します。

7

△または▽を押して、日時をプリントするか選び、OK ／メニューボタンを押します。

無し：画像のみプリントされます。
日付：画像といっしょに撮影年月日がプリントされます。
時刻：画像といっしょに撮影時刻がプリントされます。



8

△または▽を押して［予約する］を選び、OK ／メニューボタンを押します。

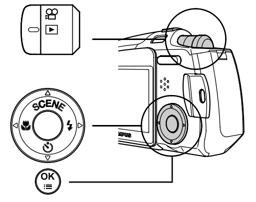
予約内容がカードに保存されます。

もう一度、OK ／メニューボタンを押すとメニューが終了します。



プリント予約を取り消す

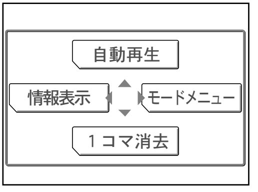
カード内に記録されているすべてのプリント予約情報を取り消します。



1 再生モードで OK ／メニューボタンを押します。

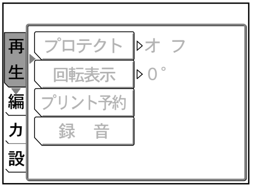
トップメニューが表示されます。

▷を押して、モードメニューに入ります。



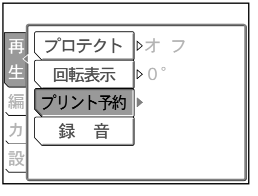
2 △または▽を押して［再生］タブを選びます。

▷を押して、再生メニューに入ります。



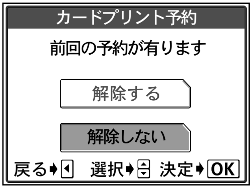
3 △または▽を押して［プリント予約］を選びます。

▷を押して、プリント予約の設定に入ります。



4

△または▽を押して［解除する］を選び、OK／メニューボタンを押します。



5

◁を押して再生メニューに戻ります。

OK／メニューボタンを押してメニューを終了します。



PictBridge 対応プリンタでプリントする

ダイレクトプリントについて

カメラを PictBridge 対応プリンタに USB ケーブルで接続して、撮影した画像を直接プリントすることができます。プリントする画像の選択やプリント枚数の設定は、カメラとプリンタを接続した状態で、カメラの液晶モニタを見ながら操作します。また、プリント予約の設定内容を使って、プリントすることもできます。
☞「プリント予約（DPOF）をする 凸」（P.115）

お使いのプリンタが PictBridge に対応しているかどうかは、プリンタの取扱説明書でお確かめください。

PictBridge とは？

異なるメーカーのプリンタとデジタルカメラを接続し、画像を直接プリントすることを目的とした規格です。

標準設定とは？

PictBridge 対応プリンタには、それぞれプリント条件の標準設定があります。各設定画面（P.127 ～ 135）で［凸 標準設定］を選択すると、この設定にしたがってプリントされます。標準設定の内容については、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧になるか、プリンタのメーカーにおたずねください。

ヒント

- プリントできる用紙の種類、用紙やインクカセットの取り付け方については、お使いのプリンタの説明書をご覧ください。

注　意

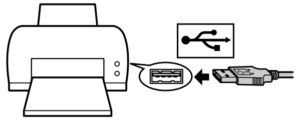
- 電源には別売の AC アダプタとパワーカプラーのご使用をおすすめします。電池をご使用の場合は、十分に充電された電池をお使いください。プリンタと通信中にカメラが動作を停止すると、プリンタが誤動作したり、画像データを壊すことがあります。
- ムービーはプリントできません。
- USBケーブルを取り付けているときは、カメラはスリープモード（待機状態）になりません。

カメラをプリンタに接続する

付属のUSBケーブルで、カメラをPictBridge対応プリンタに接続します。

1

プリンタの電源を入れて、プリンタのUSBポートに、カメラに付属の専用 USB ケーブルのプリンタ接続側のプラグを差し込みます。

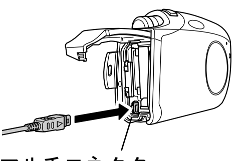


- プリンタの電源の入れ方および USB ポートの位置は、お使いのプリンタの取扱説明書でご確認ください。

2

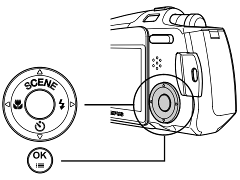
専用USBケーブルをカメラのマルチコネクタに差し込みます。

- 自動的にカメラの電源が入ります。
- カメラの液晶モニタが点灯し、USB ケーブルの接続先の選択画面が表示されます。

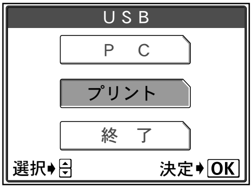


3

△または▽を押して［プリント］を選び、OK／メニューボタンを押します。



- 「しばらくお待ちください」と表示された後、カメラの液晶モニタにプリントモード選択画面が表示されます。プリントの設定はカメラの液晶モニタを見ながら操作します。☞「プリントする」（P.124）に進みます。



注意

- 誤って［PC］を選択したときは、USB ケーブルを抜いて手順 1 からやり直してください。
- PictBridge非対応プリンタでもプリント可能な機種があります。プリンタのメーカーにお問い合わせください。

4 印刷編

プリントする

カメラが正しく PictBridge 対応プリンタに接続されると、カメラの液晶モニタにプリントモード選択画面が表示されます。この画面でプリントモードを選び、プリントします。選択できるプリントモードは、以下のとおりです。





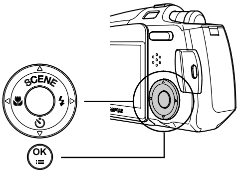
プリント	選択した画像をプリントします。 ☞「プリントモード／マルチプリントモード」(P.127)
全コマプリント	カードの中の全画像をプリントします。 ☞「全コマプリントモード」(P.131)
マルチプリント	1枚の用紙に同じ画像を複数レイアウトして、プリントします。 ☞「プリントモード／マルチプリントモード」(P.127)
全コマインデックス	カードの中の全画像を一覧にして、インデックス形式でプリントします。 ☞「全コマインデックスモード／予約プリントモード」(P.134)
予約プリント	プリント予約(DPOF)の内容にしたがってプリントします。あらかじめプリント予約(P.115)された画像が無いときは、選択できません。 ☞「全コマインデックスモード／予約プリントモード」(P.134)

プリントモードや各設定について

使用するプリントモード、用紙サイズなどの設定項目は、お使いのプリンタによって選択できる項目が異なる場合があります。詳しくはプリンタの説明書をご覧ください。

簡単なプリント方法

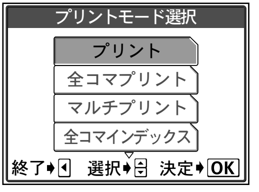
一番簡単なプリント方法を使ってプリントしてみましょう。選択した画像が 1 枚プリントされます。



1

プリントモード選択画面で、△または▽を押して［プリント］を選び、OK／メニューボタンを押します。

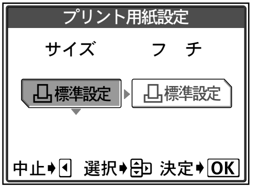
- プリント用紙設定画面が表示されます。



2

△または▽を押して用紙サイズを選び、▷を押します。

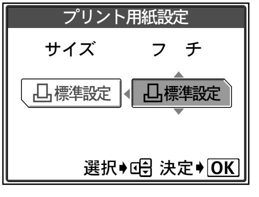
- プリント用紙設定画面が表示されないときは、用紙サイズとフチまたは分割数の設定は標準設定になります。→手順 4 へ進みます。



3

△または▽を押してフチの有無を選び、OK ／メニューボタンを押します。

有り（▭） 用紙の周辺に余白を付けてプリントします。
無し（□） 用紙いっぱいにプリントします。



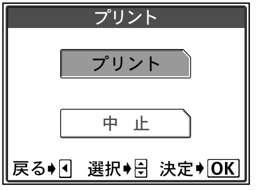
4

◁または▷を押してプリントする画像を選び、OK ／メニューボタンを押します。



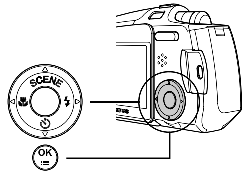
5

△または▽を押して［プリント］を選び、OK ／メニューボタンを押します。



- プリントが開始されます。
- ［中止］を選んで OK ／メニューボタンを押すとプリントモード選択画面に戻ります。
- プリントが終了すると手順 4 に戻ります。手順 4、5 を繰り返して、プリントを続けることができます。

プリントモード／マルチプリントモード



1

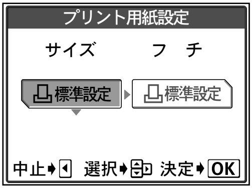
プリントモード選択画面で、△または▽を押して［プリント］、または［マルチプリント］を選び、OK ／メニューボタンを押します。



- プリント用紙設定画面が表示されます。

2

△または▽を押して用紙サイズを選び、▷を押します。



プリントモードの場合

→手順 3 へ進みます。

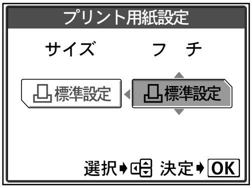
マルチプリントモードの場合

→手順 4 へ進みます。

- プリント用紙設定画面が表示されないときは、サイズとフチまたは分割数の設定は標準設定になります。→手順 5 へ進みます。

3

△または▽を押してフチの有無を選び、OK ／メニューボタンを押します。→手順 5 へ進みます。

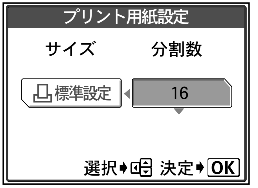


有り（▣） 用紙の周辺に余白を付けてプリントします。

無し（□） 用紙いっぱいにプリントします。

4

△または▽を押して分割数を選び、OK ／メニューボタンを押します。



5

◁または▷を押してプリントする画像を選びます。

- ズームボタンの W（▦）側を押すと、インデックス表示されます。インデックスから画像を選ぶこともできます。



6

予約方法を選択します。

1 枚予約　選択している画像を標準設定で予約します。プリント枚数は 1 枚です。

詳細予約　選択している画像のプリント枚数を設定してプリント予約します。日付やファイル名の付加などの設定もできます。

1 枚予約する

△を押します。

- 凸が表示されている画像のときに△を押すと、予約が解除されます。

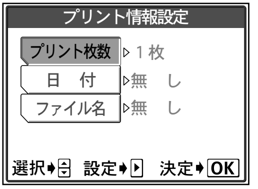
予約マークが表示されます



詳細予約する

① ▽を押します。
- プリント情報設定画面が表示されます。

② △または▽を押して設定したい項目を選び、▷を押します。
- △または▽を押して設定を変更し、OK／メニューボタンを押します。



プリント枚数　プリント枚数を設定します。枚数は 10 枚まで設定できます。

日付（）　［有り］を選ぶと、画像に日付がプリントされます。

ファイル名（）　［有り］を選ぶと、画像にファイル名がプリントされます。

- マルチプリントモードでは、[日付] [ファイル名] の設定はできません。

③ 詳細予約の設定が終了したら、OK／メニューボタンを押します。
- 手順 5 の画面に戻ります。
- 複数の画像をまとめてプリントまたはマルチプリントするときは、手順 5 と手順 6 の「1 枚予約」と「詳細予約」を繰り返して、プリントする画像をすべて選びます。
- マルチプリントモードでは、が表示されます。

設定状態が表示されます。

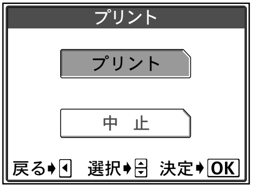


7 OK／メニューボタンを押します。

- プリント画面が表示されます。

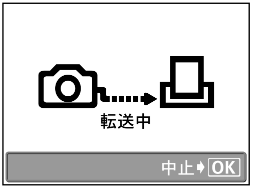
4 印刷編

8 プリントします。



- △または▽を押して［プリント］または［中止］を選び、OK ／メニューボタンを押します。

プリント　プリントを開始します。
中止　設定した内容が取り消され、プリントモード選択画面に戻ります。



データ転送中の画面

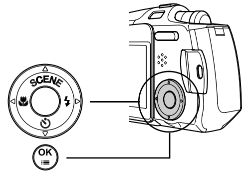
- プリントが終了すると、プリントモード選択画面に戻ります。
  ☞「ダイレクトプリントを終了する」（P.136）

プリントを途中で中止するには

プリンタへデータを転送中に OK ／メニューボタンを押すと、プリント続行、または中止の選択画面が表示されます。プリントを中止するには、△または▽を押して［中止］を選び、OK ／メニューボタンを押します。



全コマプリントモード



1

プリントモード選択画面で、△または▽を押して［全コマプリント］を選び、OK ／メニューボタンを押します。

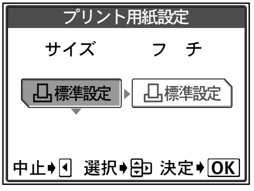
● プリント用紙設定画面が表示されます。



2

△または▽を押して用紙サイズを選び、▷を押します。

● プリント用紙設定画面が表示されないときは、サイズとフチの設定は標準設定になります。→手順 4 に進みます。

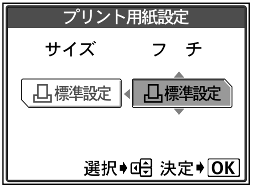


3

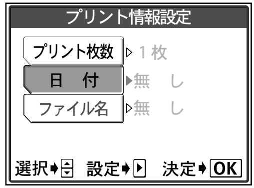
△または▽を押してフチの有無を選び、OK ／メニューボタンを押します。

有り（▣） 用紙の周辺に余白を付けてプリントします。
無し（□） 用紙いっぱいにプリントします。

● プリント情報設定画面が表示されます。



4 △または▽を押して設定したい項目を選び、▷を押します。



- △または▽を押して設定を変更し、OK ／メニューボタンを押します。
- プリント情報設定ができないプリンタの場合は、手順 6 に進みます。
- プリント枚数は各 1 枚です。

日付（◷）　［有り］を選択すると、画像に日付が付加されてプリントされます。

ファイル名（FILE）　［有り］を選択すると、画像にファイル名が付加されてプリントされます。

5 OK ／メニューボタンを押します。

プリント画面が表示されます。

6 プリントします。



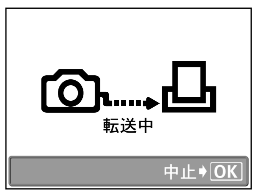
- △または▽を押して［プリント］または［中止］を選び、OK ／メニューボタンを押します。

プリント　プリントを開始します。

中止　設定した内容が取り消され、プリントモード選択画面に戻ります。

プリントが終了すると、プリントモード選択画面に戻ります。

☞「ダイレクトプリントを終了する」(P.136)

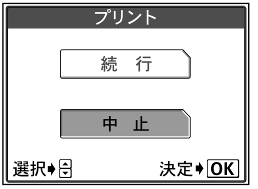


データ転送中の画面

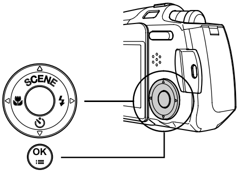
4 印刷編

プリントを途中で中止するには

プリンタへのデータ転送中に OK ／メニューボタンを押すと、プリント続行、または中止の選択画面が表示されます。プリントを中止するには、△または▽を押して［中止］を選び、OK ／メニューボタンを押します。

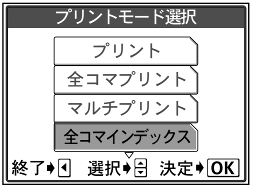


全コマインデックスモード／予約プリントモード



1

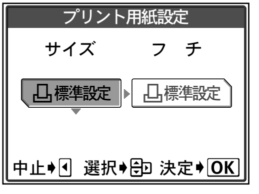
プリントモード選択画面で、△または▽を押して［全コマインデックス］、または［予約プリント］を選び、OK ／メニューボタンを押します。



- プリント用紙設定画面が表示されます。

2

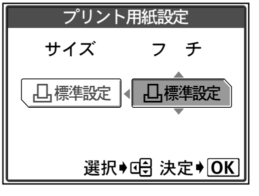
△または▽を押して用紙サイズを選び、▷を押します。



- プリント用紙設定画面が表示されないときは、サイズとフチの設定は標準設定（プリンタ初期設定）になります。→手順 4 に進みます。

3

△または▽を押してフチの有無を選び、OK ／メニューボタンを押します。



有り（▢） 用紙の周辺に余白を付けてプリントします。
無し（□） 用紙いっぱいにプリントします。

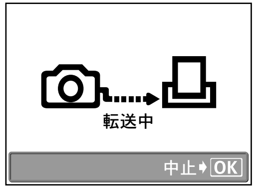
- プリント画面が表示されます。
- 全コマインデックスモードでは、フチの選択はありません。→手順 4 に進みます。

4 プリントします。



- △または▽を押して［プリント］または［中止］を選び、OK ／メニューボタンを押します。

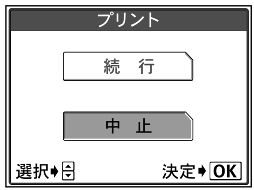
プリント　プリントを開始します。
中止　設定した内容が取り消され、プリントモード選択画面に戻ります。



データ転送中の画面

- プリントが終了すると、プリントモード選択画面に戻ります。
☞「ダイレクトプリントを終了する」（P.136）

プリントを途中で中止するには



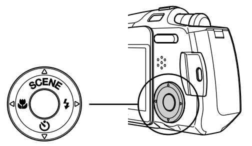
プリンタへのデータ転送中に OK ／メニューボタンを押すと、プリント続行、または中止の選択画面が表示されます。

プリントを中止するには、△または▽を押して［中止］を選び、OK ／メニューボタンを押します。

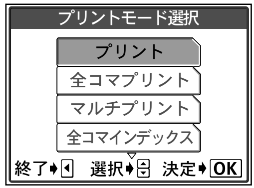
4 印刷編

ダイレクトプリントを終了する

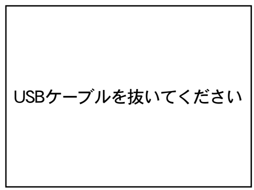
プリントが終了したら、カメラをプリンタから取り外します。



1 プリントモード選択画面で、◁を押します。

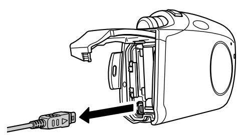


● メッセージが表示されます。

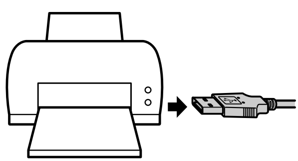


2 カメラから USB ケーブルを抜きます。

● カメラの電源が切れます。



3 プリンタから USB ケーブルを抜きます。



5 パソコン接続編

カードに保存されている画像をパソコンに取り込む方法や、付属の OLYMPUS Master のさまざまな機能を説明します。

詳しくは OLYMPUS Master の「ヘルプ」および取扱説明書をご覧ください。



操作の流れ

カメラをパソコンにUSBケーブルで接続して、カメラのカードに保存されている画像を付属のOLYMPUS Masterを使ってパソコンに取り込みます。

OLYMPUS Masterをインストールする	☞P.140
↓	
付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続する	☞P.146
↓	
OLYMPUS Masterを起動する	☞P.148
↓	
画像をパソコンに保存する	☞P.150
↓	
カメラをパソコンから取り外す	☞P.151

注　意

- カメラをパソコンに接続して使用するときは別売のACアダプタとパワーカプラーのご使用をおすすめします。電池をご使用のときは残量が十分にあることをご確認ください。パソコンとの接続中（通信中）は、自動的に電源が切れません。電池の残量がなくなると、カメラは途中で動作を停止します。カメラが動作を停止すると、パソコンが誤動作したり、パソコンとカメラの通信中の場合は画像データ（ファイル）を壊すことがあります。
- 誤動作の原因になりますので、パソコンとの接続中はカメラの電源を切らないでください。
- USBハブを経由してカメラを接続すると、ハブとパソコン間の相性によって動作が不安定になることがあります。この場合は、ハブを使用しないでパソコンとカメラを直接接続してください。

ヒント

パソコンに取り込んだ画像を活用するには

→ グラフィックソフトを使っての画像処理は、必ずパソコンに取り込んでから行ってください。ソフトウェアによってはファイル（画像）がカードの中にある状態で画像処理（画像の回転など）を行うと、ファイルが壊れる可能性があります。

USB接続でカメラのデータを取り込めないとき

→ OSによってはPCカードアダプタをお使いいただくと､xDピクチャーカードからパソコンへ画像を取り込めます。詳しくは裏表紙に記載の「ホームページによる情報提供について」をご参照ください。

付属の OLYMPUS Master を使う

付属の CD-ROM には、画像編集・管理を行う OLYMPUS Master が収録されています。

OLYMPUS Master とは

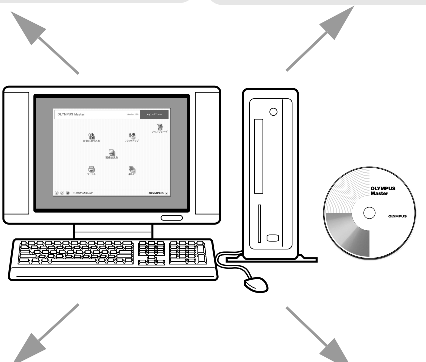
OLYMPUS Master はデジタルカメラで撮影した画像をパソコンで楽しむためのアプリケーションソフトウェアです。パソコンにインストールすると、以下のようなことができます。

カメラやメディアから画像を取り込む

画像を整理・管理する
カレンダー形式で表示して画像を管理します。撮影日時やキーワードで、目的の画像をすばやくみつけることができます。

画像を見る・ムービーを見る
スライドショーを楽しんだり、サウンドを再生することもできます。

画像を編集する
画像の回転や反転、トリミング、サイズ変更などの編集ができます。



フィルタ機能、補正機能で画像を補正する

パノラマ写真を作る
パノラマモードで撮った画像を使ってパノラマ写真を作成します。

プリンタを使ってプリントする
インデックスプリントやカレンダー、ポストカードなど多彩なプリントが楽しめます。

上記以外の機能や操作方法については、OLYMPUS Master の「ヘルプ」および取扱説明書をご覧ください。

OLYMPUS Master をインストールする

お使いのパソコンの OS をご確認の上、インストールしてください。

新しい OS への対応についてはオリンパスホームページ
(http://www.olympus.co.jp/) でご確認ください。

動作環境について

Windows

OS	Windows 98SE/Me/2000 Professional/XP
CPU	Pentium III 500MHz 以上
RAM	128MB 以上（256MB 以上を推奨）
ハードディスク容量	300MB 以上
コネクタ	USB ポート
モニタ	1024 × 768 ドット以上、65,536 色以上

注　意

- OS がプレインストールされているパソコンのみ、動作対象となります。
- Windows XP は Windows XP Professional/Home Edition に対応しています。
- Windows 2000 は、Windows 2000 Professional にのみ対応しています。
- Windows 98SEをお使いの場合、USBドライバが自動的にインストールされます。
- Windows 2000 Professional/XPでインストールする場合は、管理者権限を所有するユーザでログオンしてください。
- パソコンにQuickTime 6以上、Internet Explorer 6以上がインストールされている必要があります。

Macintosh

OS	Mac OS 10.2 以降
CPU	Power PC G3 500MHZ 以上
RAM	128MB 以上（256MB 以上を推奨）
ハードディスク容量	300MB 以上
コネクタ	USB ポート
モニタ	1024 × 768 ドット以上、32,000 色以上

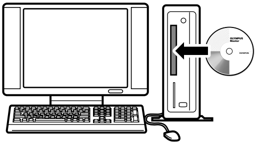
注　意

- USB ポートが標準装備されていない Macintosh では、パソコンとカメラを USB 接続した場合の動作を保証いたしません。
- QuickTime 6 以上、Safari 1.0 以上がインストールされている必要があります。
- 次の操作を行うときは、必ずメディアを取り出す手順（ゴミ箱にドラッグ＆ドロップ）を先に行ってください。この手順を行わずに操作すると、パソコン動作が不安定になり、再起動が必要となる場合があります。
  ・ カメラとパソコンの接続ケーブルを抜く
  ・ カメラの電源を切る
  ・ カメラのカードカバーを開ける

Windows の場合

1

CD-ROM ドライブに CD-ROM を入れます。



OLYMPUS Master インストール画面が表示されます。

表示されない場合は、[マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックし、CD-ROM アイコンをクリックしてください。

2

[OLYMPUS Master] ボタンをクリックします。

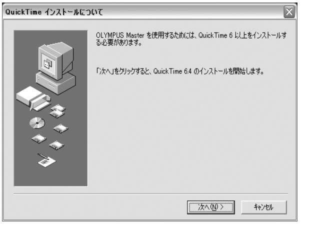


QuickTimeインストールの画面が表示されます。

QuickTimeは OLYMPUS Master を動作させるうえで必要です。すでに QuickTime 6 以上がインストールされている場合は表示されません。手順 4 に進んでください。

3

[次へ] ボタンをクリックし、画面のメッセージに沿って操作を行います。



途中、使用許諾契約の画面が表示されたら、契約文をお読みのうえで [同意します] をクリックします。

OLYMPUS Master インストールの画面が表示されます。

4 画面のメッセージにしたがって操作を行います。



途中、使用許諾契約の画面が表示されたら、契約文をお読みのうえで［はい］ボタンをクリックします。



途中、ユーザ情報の画面が表示されたら、［名前］［OLYMPUS Master シリアル番号］を入力し、お住まいの国を選択して［次へ］ボタンをクリックします。

シリアル番号は、CD-ROMのパッケージに貼ってあるシールをご覧ください。

途中、DirectXインストールの使用許諾契約の画面が表示されたら、契約文をお読みのうえ、［はい］ボタンをクリックします。

Adobe Reader をインストールするかどうか確認する画面が表示されます。
Adobe Reader は OLYMPUS Master の取扱説明書を見るのに必要です。すでに Adobe Reader がインストールされている場合は表示されません。

5 Adobe Reader をインストールする場合は［OK］をクリックします。



インストールしない場合は［キャンセル］をクリックします。

Adobe Reader インストールの画面が表示されます。

続いて、蔵衛門体験版のインストールを行うかどうかを確認する画面が表示されます。蔵衛門体験版をインストールする場合は［はい］ボタンをクリックします。

6

画面のメッセージにしたがって操作を行います。

インストール完了画面が表示されます。



7

［完了］ボタンをクリックします。

最初の画面に戻ります。

8

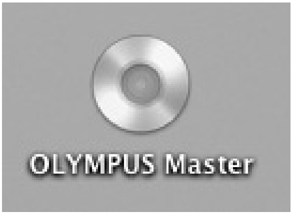
再起動の画面が表示されたら［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］にチェックをつけます。CD-ROM を取り出して［完了］をクリックしてください。

Macintosh の場合

1 CD-ROM ドライブに CD-ROM を入れます。

CD-ROM のウィンドウが表示されます。

表示されない場合はデスクトップの CD-ROM アイコンをダブルクリックします。



2 ［インストーラ］アイコンをダブルクリックします。

画面のメッセージに沿って操作を行ってください。



OLYMPUS Master のインストーラが起動します。

途中、使用許諾契約の画面が表示されたら、契約文をお読みのうえで［続ける］ボタン、［同意します］ボタンをクリックします。

インストール完了画面が表示されます。

3 ［終了］ボタンをクリックします。

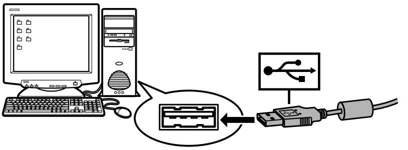
4 CD-ROM を取り出して［再起動］をクリックしてください。

カメラをパソコンに接続する

付属の USB ケーブルで、カメラをパソコンに接続します。

1

パソコンの USB ポートに、カメラに付属の専用 USB ケーブルのパソコン接続側のプラグを差し込みます。



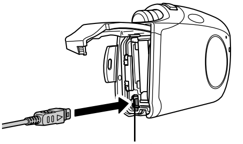
USB ポートの位置は、お使いのパソコンの取扱説明書でご確認ください。

2

専用USBケーブルをカメラのマルチコネクタに差し込みます。

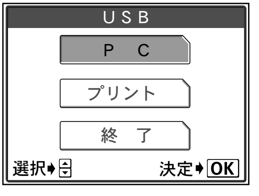
自動的にカメラの電源が入ります。

カメラの液晶モニタが点灯し、USB ケーブルの接続先の選択画面が表示されます。



3

△または▽を押して［PC］を選択し、OK ／メニューボタンを押します。



4 パソコンがカメラを新しい機器として認識します。

- Windows 98SE/Me/2000の場合

  はじめてカメラとパソコンを接続したときは、パソコンがカメラを認識する動作を自動的に行い、終了のメッセージが表示されます。

  ［OK］をクリックしてメッセージを終了してください。

  カメラは （リムーバブルディスク）として認識されます。

- Windows XPの場合

  パソコンに接続すると、画像ファイルの操作を選択する画面が表示されます。OLYMPUS Masterで画像を取り込みますので、［キャンセル］をクリックします。

- Mac OS Xの場合

  画像ファイルは、通常iPhoto というアプリケーションで管理されています。はじめてカメラを接続するとiPhotoが起動するので、iPhotoを終了してください。

注 意

● パソコンに接続中は、カメラとしての機能は一切動作しません。

OLYMPUS Master を起動する

Windows の場合

1 デスクトップの （OLYMPUS Master）アイコンをダブルクリックします。

メインメニューが表示されます。

Macintosh の場合

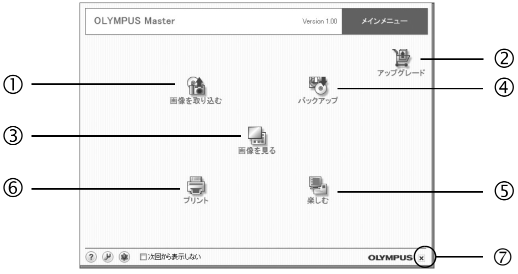
1 ［OLYMPUS Master］フォルダ内の （OLYMPUS Master）アイコンをダブルクリックします。

メインメニューが表示されます。

最初の起動時にユーザ情報の画面が表示されますので、［名前］［OLYMPUS Master シリアル番号］を入力し、お住まいの国を選択してください。



OLYMPUS Master のメインメニュー



① **［画像を取り込む］ボタン**
画像をカメラまたはメディアから取り込みます。

② **［アップグレード］ボタン**
OLYMPUS Master Plus へアップグレードできるダイアログボックスが表示されます。

③ **［画像を見る］ボタン**
ブラウズウィンドウが表示されます。

④ **［バックアップ］ボタン**
画像をバックアップします。

⑤ **［楽しむ］ボタン**
楽しむメニューが表示されます。

⑥ **［プリント］ボタン**
プリントメニューが表示されます。

⑦ **［閉じる］ボタン**
OLYMPUS Master を終了します。

OLYMPUS Master を終了するには

1 メインメニューで ✖（閉じる）ボタンをクリックします。

OLYMPUS Master が終了します。

カメラの画像をパソコンで表示する

取り込んで保存する

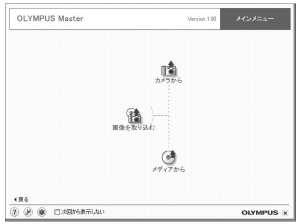
カメラの画像をパソコンに保存します。

1 OLYMPUS Master メインメニューで（画像を取り込む）ボタンをクリックします。

取り込み元選択メニューが表示されます。

2 （カメラから）ボタンをクリックします。

取り込み元ウィンドウが表示されます。カメラ内のすべての画像が一覧表示されます。



3 画像ファイルを選択し、［取り込み］ボタンをクリックします。

確認のメッセージが表示されます。



5 パソコン接続編

4 [今すぐ画像を見る] ボタンをクリックします。



ブラウズウィンドウに取り込んだ画像が表示されます。

ブラウズウィンドウの[メニュー]をクリックすると、メインメニューに戻ります。

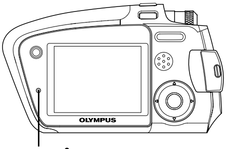
注　意

- コピー中はカメラ本体のランプが赤く点滅します。点滅している間は、絶対にカメラのカードカバーを開けたり、電池やACアダプタ／パワーカプラーの抜き差しをしないでください。カード内のデータが破壊されるおそれがあります。

カメラを取り外すには

カメラの画像をパソコンに取り込んだら、カメラを取り外すことができます。

1 カメラ本体のランプが緑色に点灯していることを確認します。



2 Windows 98SE の場合

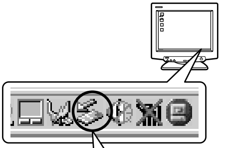
1 [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックして、[リムーバブルディスク] を右クリックし、メニューを表示させます。

2 メニューの [取り出し] をクリックします。

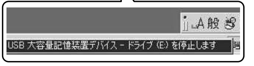


Windows Me/2000/XP の場合：

1 システムトレイに表示されている［ハードウェアの取り外し］アイコンをクリックします。



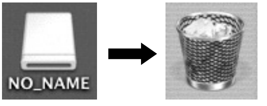
2 表示されるメッセージをクリックします。



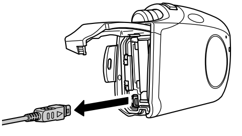
3［デバイスは安全に取り外すことができます］が表示されたら、［OK］をクリックします。

Macintosh の場合：

1 デスクトップの［NO_NAME］(または［名称未設定］）アイコンを［ごみ箱］にドラッグ＆ドロップします。



3 カメラから USB ケーブルを抜きます。



注　意

● Windows Me/2000/XP の場合：
［ハードウェアの取り外し］をクリックした際、［カメラを停止できません］という警告画面が表示される場合があります。その場合は、カメラの画像データを読み込み中でないこと、またカメラの画像ファイルを開いていたアプリケーションが起動していないことを確認してください。確認後、［ハードウェアの取り外し］の操作を再度行い、その後ケーブルを外してください。

静止画／ムービーを見る

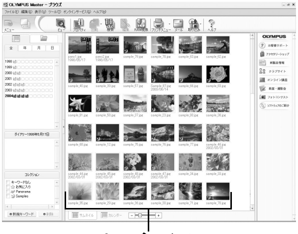
1

OLYMPUS Master メインメニューで （画像を見る）ボタンをクリックします。

ブラウズウィンドウが表示されます。

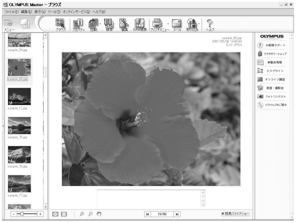
2

見たい静止画のサムネイルをダブルクリックします。



ビューモードに切り替わり、画像が拡大されます。

ブラウズウィンドウの［メニュー］をクリックすると、メインメニューに戻ります。



ムービーを見るには

1 ブラウズウィンドウで見たいムービーのサムネイルをダブルクリックします。

ビューモードに切り替わり、ムービーの 1 コマ目が表示されます。

2 ムービー表示部下側の再生ボタン をクリックするとムービーが再生されます。

コントローラ各部の名称とはたらきは以下のとおりです。



	項目	詳細
1	再生スライダー	スライダーを移動して、任意のフレームを指定できます。
2	時間表示	再生中の経過時間が表示されます。
3	再生（一時停止）ボタン	ムービーを再生します。再生中は一時停止ボタンになります。
4	1フレーム戻るボタン	1つ前のフレームを表示します。
5	1フレーム進むボタン	次のフレームを表示します。
6	停止ボタン	再生を停止し、先頭のフレームに戻ります。
7	繰り返しボタン	ムービーが繰り返し再生されます。
8	ボリュームボタン	ボリューム調整スライダーが表示されます。

プリントする

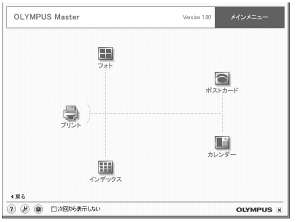
フォト、インデックス、ポストカード、カレンダーなどのプリントメニューがあります。ここではフォトプリントを例に説明します。

1 OLYMPUS Master メインメニューで［プリント］ボタンをクリックします。

プリントメニューが表示されます。

2 （フォト）ボタンをクリックします。

フォトプリントウィンドウが表示されます。



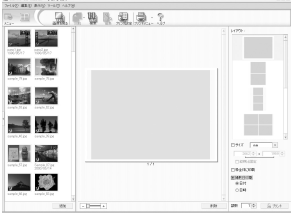
3 フォトプリントウィンドウの［プリンタ設定］をクリックします。

プリンタの設定ダイアログが表示されますので、必要に応じて、プリンタの設定をします。



4 プリントするレイアウトやサイズなどを選択します。

日付または日時を入れて印刷するときは［撮影日印刷］にチェックをつけて、［日付］または［日時］を選びます。

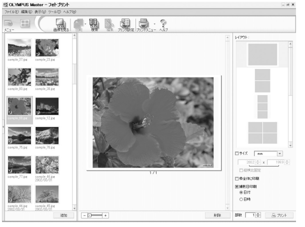


5 パソコン接続編

5

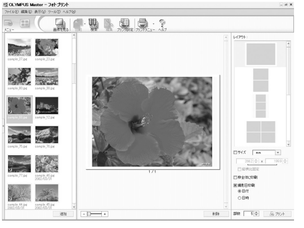
プリントしたい画像のサムネイルを選択し、［追加］ボタンをクリックします。

選択した画像がレイアウト上にプレビュー表示されます。



6

プリントする部数を設定します。



7

［プリント］ボタンをクリックします。

フォトプリントウィンドウの［メニュー］をクリックすると、メインメニューに戻ります。

OLYMPUS Masterを使用せずにパソコンに画像を取り込んで保存する

このカメラは USB ストレージクラスに対応しています。OLYMPUS Masterを使用せずに付属の専用USBケーブルでカメラとパソコンを接続して、画像を取り込んで保存することもできます。

接続できるパソコンの環境は以下のとおりです。

Windows：Windows 98/98SE/Me/2000 Professional/XP

Macintosh：Mac OS 9.0-9.2/X

注 意

- USB 端子を装備していても、以下の環境では正常な動作の保証はできません。
  - ・ Windows 95/NT 4.0
  - ・ Windows 95 からアップグレードした Windows 98/98SE
  - ・ Mac OS 8.6 以前（ただし、出荷時に USB 端子、USB MASS Storage Support1.3.5 を装備した Mac OS 8.6 は動作確認がされています。）
  - ・ 拡張カードなどで USB 端子を増設したパソコン
  - ・ 出荷時に OS がインストールされていないパソコンおよび自作パソコン
- Windows 98/98SE をお使いの方は、USB ドライバのインストールが必要です。カメラとパソコンを USB ケーブルで接続する前に、付属の OLYMPUS Master CD-ROM の以下のフォルダから［INSTALL.EXE］をダブルクリックして、インストールしてください。
  （お使いのパソコンのドライブ名）:¥USB

MEMO

5

パソコン接続編

6　付　録

トラブルの対処方法やカメラの保守・点検、および各種仕様を一覧で説明します。



使用上のご注意

使用条件について

- 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。以下のような場所で長時間使用したり放置すると、動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、避けてください。
  - 直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど、高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
  - 砂、ほこり、ちりの多い場所
  - 火気のある場所
  - 水に濡れやすい場所
  - 激しい振動のある場所
- カメラを落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。
- レンズを直射日光に向けたまま撮影または放置しないでください。CCDの退色•焼きつきを起こすことがあります。
- 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、カメラ内部で結露が発生する場合があります。ビニール袋などに入れてから室内に持ち込み、カメラを室内の温度になじませてからご使用ください。
- カメラを長期間使用しないと、カビがはえるなど故障の原因となることがあります。使用前には動作点検をされることをおすすめします。
- カメラのそばにクレジットカードや磁気定期券、フロッピーディスクなどの磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。
- 三脚に取り付ける際は、カメラを回さず、三脚のネジを回してください。
- 本体の電気接点部には手を触れないでください。
- レンズに無理な力を加えないでください。

電池について

- 当社製リチウムイオン電池は、当社デジタルカメラ専用です。他の機器に使用しないでください。
- 電池の **（+）（−）** 端子は、常にきれいにしておいてください。汗や油で汚れていると、接触不良を起こす原因となります。充電や使用する前に、乾いた布でよく拭いてください。
- 充電式電池をはじめてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用の前に必ず充電してください。
- 一般に電池は低温になるにしたがって一時的に性能が低下することがあります。寒冷地で使用するときは、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると性能が回復します。
- リチウムイオン電池の使用推奨温度範囲は以下のとおりです。
  - 放電（機器使用時）：０～４０℃
  - 充電：０～４０℃
  - 保存：－２０～３０℃

  上記温度範囲外での使用は、電池性能の低下•寿命の短縮の原因となります。

- 撮影条件、使用環境および電池により、撮影枚数が減少することがあります。
- 長期間の旅行などには、予備の電池を用意されることをおすすめします。海外では地域によって電池の入手が困難な場合があります。
- 使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、（＋）（－）端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。

詳しくは社団法人電池工業会のホームページ
http://www.baj.or.jp/recycle/ をご覧ください。

Li-ion

カードについて

- カードは精密電子機器です。曲げたり、衝撃を与えないでください。また静電気には十分ご注意ください。カードに保存しているデータは、不揮発性の半導体メモリ内に保存されますが、間違った扱いをするとデータが破壊されます。
- カードを水に濡らしたり、ほこりの多い場所に放置しないでください。
- 高温多湿の場所でのご使用・保管は避けてください。
- 発熱物・発火物の近くでのご使用は避けてください。
- カードの金属部分に指紋や汚れが付着すると、データの読み書きが正常に行われないことがあります。その場合は、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- **カードには寿命があり、長期間使用するうちに書き込みや消去ができなくなります。その場合は、新しいものとお取り換えください。**
- **他の媒体に保存したデータの損害、またカード内のデータ消滅に関し、当社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。**

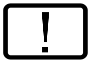
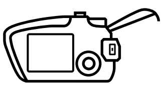
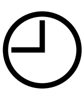
液晶モニタについて

本製品は背面の表示に、液晶モニタを使用しています。

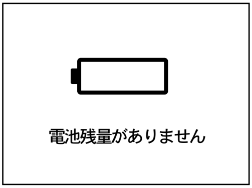
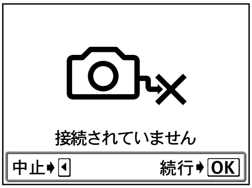
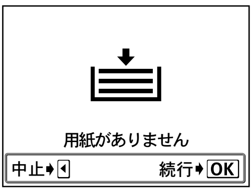
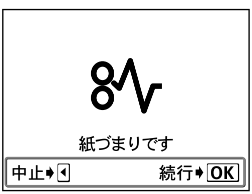
- カメラを太陽などの強い光線に向けると、内部を破損するおそれがあります。
- 液晶モニタは強く押さないでください。画面上ににじみが残り、画像が正しく再生されなくなったり、液晶モニタが割れたりするおそれがあります。万一破損した場合は中の液晶を口に入れないでください。液晶が手足や衣類に付着した場合は、直ちにせっけんで洗い流してください。
- 液晶モニタの画面上下に光が帯状に見えることがありますが、故障ではありません。
- 被写体が斜めのとき、液晶モニタにギザギザが見えることがありますが、故障ではありません。記録される画像には影響ありません。
- 一般に低温になるにしたがって液晶モニタは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときは、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した液晶モニタは、常温に戻ると回復します。
- **本製品の液晶モニタは、精密度の高い技術でつくられていますが、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、記録される画像に影響はありません。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、液晶モニタの構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。**

エラーメッセージが液晶モニタに表示されたときは

液晶モニタ表示	対処方法
! カードを認識できません	カードを入れてください。またはカードを正しく入れ直してください。☞ 別冊の「取扱説明書 基本編」をご覧ください。 市販のクリーニングペーパーでカードの金色の金属部分を拭いて、もう一度カードを入れてください。それでもこの表示が消えないときはカードをフォーマットしてください。フォーマットできない場合、このカードはご使用になれません。
! このカードは使用できません	カードに問題があり、使用できません。フォーマットができない場合、このカードはご使用になれません。新しいカードを入れてください。
! 書き込み禁止になっています	パソコンを使って読み取り専用の設定がされています。もう一度、パソコンを使って解除してください。 それでもこの表示が消えない場合は、カードの画像をパソコンに保存してからカメラでフォーマットしてください。
! 撮影可能枚数が０です	カードを交換するか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
! カード残量がありません	カードを交換するか不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。

液晶モニタ表示	対処方法
 画像が記録されていません	カードに画像が入っていません。撮影してから再生してください。
 この画像は再生できません	パソコンの画像ソフトなどで再生してください。それでも再生できない場合は、画像ファイルの一部が壊れています。
カードセットアップ 電源オフ フォーマット 選択➧ 決定➧OK	カードをフォーマットしてください。 ☞（P.107）
 カードカバーが開いています	カードカバーを閉めてください。☞ 別冊の「取扱説明書 基本編」をご覧ください。
 日時を設定してください	日時を設定してください。☞（P.86）

エラーメッセージが液晶モニタに表示されたときは

液晶モニタ表示	対処方法
	電池残量がありません。 充電してください。
	カメラがプリンタまたはパソコンに正しく接続されていません。正しく接続し直してください。
	用紙切れです。用紙をプリンタに補充してください。
	インク切れです。インクをプリンタに補充してください。
	用紙が詰まっています。詰まった用紙を取り除いてください。

液晶モニタ表示	対処方法
プリンタの設定が変更されました 戻る➧OK	プリンタ側で用紙カセットを取り出すなどの操作をしたことが原因です。プリント設定中にはプリンタの操作はしないでください。
 プリンタエラーです 中止➧◀　続行➧OK	エラーが発生しました。カメラとプリンタの電源を切り、プリンタの状態を確認してからもう一度電源を入れてください。

故障かな？と思ったら

原因	こうしましょう	参照ページ
カメラが動かない／液晶モニタが点灯しない		
❶ 電源が切れている。	❶ 電源を入れ直してください。	※1
❷ 電池の残量がない。	❷ 電池を充電してください。	※1
❸ 寒さで電池の性能が一時的に低下した。	❸ 電池をポケットに入れるなどして、温めてからご使用ください。	－
❹ カメラ内が結露した。	❹ 電源を切って、しばらく放置し、カメラを乾燥させてから電源を入れてください。	－
❺ 撮影モードで自動的に電源が切れた。	❺ 電池の消耗を防ぐため、約3分で待機状態になります。ズームボタンなどいずれかのボタンを押してください。	※1
❻ 再生モードで自動的に電源が切れた。	❻ 電池の消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。もう一度、電源を入れ直してください。	※1
❼ パソコンに接続している。	❼ パソコンと接続中、カメラは動作しません。	－
カメラの動作がおかしい		
❶ パソコンでフォーマットしたカードを使用した。	❶ カード機能の破壊や画像ファイルの破損原因になることがあります。また、記録時間が異常に長くなったり、再生できなくなることがあります。カメラでフォーマットしてください。	P.107
シャッターボタンを押しても撮影ができない		
❶ カードの容量がいっぱいになった。	❶ 不要な画像を消すか、新しいカードを入れてください。大切な画像は、消す前にパソコンに取り込んでください。	※1, P.79, 80, 150,
❷ フラッシュが充電中である。	❷ フラッシュ充電ランプの点滅が終わるまでお待ちください。	P.24, 170,
❸ カードに書き込み中である。	❸ カメラ本体のランプの点滅が終わるまでお待ちください。	P.170
❹ メモリゲージがすべて点灯している。	❹ メモリゲージの一番上が消灯するまで、お待ちください。	※1

※1　別冊の「取扱説明書 基本編」をご覧ください。

6
付録

原因	こうしましょう	参照ページ
フラッシュが発光しない		
❶ フラッシュが［⚡ 発光禁止］に設定されている。	❶ フラッシュの設定を［⚡ 発光禁止］以外に設定してください。	P.23
❷ 被写体が明るすぎた。	❷ フラッシュを強制的に発光させたいときは、［⚡ 強制発光］に設定してください。	P.23
画像が再生できない		
❶ 電源が入っていない。	❶ 電源を入れ直してください。	※ 1
❷ 撮影モードになっている。	❷ モードダイヤルを ▶ に合わせるか、クイックビューボタンを押してください。	※ 1
❸ 撮影がされていない。	❸ 撮影してから、再生してください。	※ 1
❹ 画像の情報（ファイル名など）をパソコンで変更した。	❹ カメラの誤動作の原因になりますので、パソコンで画像の情報を書き換えないでください。	－
画像データに記録される日時が正しくない		
❶ 日時が設定されていない。	❶ 日時を設定してください。ご購入時は、日時設定されていません。	P.86
❷ 電池を抜いて放置した。	❷ もう一度、日時設定してください。	P.86
❸ カメラが動作中に電池／ AC アダプタからの電力供給状況に異常を検知した。	❸ カメラ動作中に電力が得られなくなると、動作を停止することがあります。その後、正常復帰させるために、記録されているすべての設定値をリセットすることがあります。もう一度、日時設定をしてください。	P.86
❹ 静電気を帯電したカードを挿入した。	❹ もう一度、日時設定してください。	P.86
設定した機能が電源を切ると元に戻ってしまう		
❶ 設定を記憶しないで、電源を切っている。	❶ 設定保持を［する］にしてください。	P.88
液晶モニタが見にくい		
❶ 液晶モニタの明るさの設定が適切でない。	❶ 液晶モニタを調整してください。	P.109
❷ 太陽光の下である。	❷ 太陽の光を手などでさえぎってください。	－

※ 1　別冊の「取扱説明書 基本編」をご覧ください。

原因	こうしましょう	参照ページ
ピントが合っていない		
❶ シャッターボタンを押すときにカメラが動いてしまった。	❶ カメラを正しく構えてください。シャッターボタンは、静かに押してください。暗い状況でフラッシュを［⊛ 発光禁止］または撮影シーンを ▣（夜景）に設定しているときは、三脚をお使いになるか、カメラをしっかり構えてください。	※1 P.23, 14
❷ 被写体が近すぎる。	❷ マクロ撮影またはスーパーマクロ撮影をしてください。	P.37, 38
❸ セルフタイマーを使って撮影したときに、カメラのレンズの前に立ってシャッターボタンを押した。	❸ カメラのレンズの前に立ってシャッターボタンを押すと、ご自身にピントが合ってしまいます。液晶モニタで構図を確認しながら撮影してください。	–
❹ シャッターボタンを半押ししたときに、液晶モニタの緑ランプが点滅していた。	❹ 緑ランプが点灯したことを確認してから全押ししてください。	P.170 ※1
❺ 被写体が中央にない状況で、ピント合わせを行わなかった。	❺ フォーカスロックを使用して、ピント合わせを正確に行ってください。	P.10
❻ レンズに汚れ（水滴など）が付いていた。	❻ レンズの汚れを拭き取ってください。レンズブロワー（市販）でレンズのほこりを吹き払って、レンズクリーニングペーパー（市販）でやさしく拭いてください。レンズを汚れたままにしておくと、カビの原因となります。	–
画像の一部が欠けてしまった		
❶ レンズに指やストラップがかかってしまった。	❶ カメラを正しく構えてください。	※1
❷ 撮影距離が近かった。	❷ 液晶モニタで実際に撮影される範囲を確認しながら撮影してください。	※1
撮影した画像が明るすぎる		
❶ フラッシュの設定が［⚡ 強制発光］になっていた。	❶［⚡ 強制発光］以外に設定してください。	P.23
❷ 被写体が明るすぎた。	❷ 露出補正をマイナス（−）側に設定するか、カメラの向きを変えてください。	P.32

※1　別冊の「取扱説明書 基本編」をご覧ください。

原因	こうしましょう	参照ページ
撮影した画像が暗い		
❶ フラッシュを指で覆ってしまった。	❶ カメラを正しく構えてください。	※1
❷ 被写体がフラッシュ撮影範囲内より遠かった。	❷ フラッシュ撮影範囲内で撮影してください。	P.24
❸ フラッシュが［発光禁止］になっていた。	❸ フラッシュを［発光禁止］以外に設定してください。	P.23
❹ 逆光で撮影した。	❹ フラッシュを［強制発光］に設定するか、測光を［スポット］に設定してください。	P.23, 35
❺ 雪景色などで、極端に明るい被写体を撮った。	❺ シーンセレクト画面で（ビーチ＆スノー）を選んで撮影すると、きれいに撮れます。	P.14
室内で撮影した画像の色がおかしい		
❶ 照明の色が影響した。	❶ 照明にあったホワイトバランスを設定してください。	P.30
❷ 被写体に白い部分がなかった。	❷ 白いものを入れて撮影するか、フラッシュを［強制発光］にしてください。	P.23
❸ ホワイトバランスの設定が間違っている。	❸ 照明に合わせて、ホワイトバランスを設定し直してください。	P.30
プリンタと接続できない		
❶ USB ケーブルでプリンタに接続したあと、液晶モニタで［PC］を選択した。	❶ USB ケーブルを抜いて最初の手順からやり直してください。	P.123
❷ プリンタが PictBridge に対応していない。	❷ ご使用のプリンタの取扱説明書をご確認ください。または、プリンタメーカーにお尋ねください。	−
パソコンでカメラが認識されない		
❶ USB ドライバがインストールできていない。	❶ Windows 98/98SE では USB ドライバのインストールが必要です。ドライバをインストールしてください。	P.140, 157

※1　別冊の「取扱説明書 基本編」をご覧ください。

ランプ／マークの内容について

液晶モニタの緑ランプ・フラッシュ発光予告（⚡）と、カメラ本体のランプは、以下の状態を示しています。

表示	カメラの状態	できること／できないこと
液晶モニタの緑ランプ点灯	オートフォーカスでピントが合っている（半押しのとき）	撮影できます。
液晶モニタの緑ランプ点滅	ピントが合っていない（半押しのとき）	撮影できますが、ピントが合わない場合があります。
液晶モニタのフラッシュ発光予告／フラッシュ充電ランプ（⚡）点灯	フラッシュ充電中	撮影できません。 フラッシュを発光させているときは、点滅が終わるまで待ってから撮影してください。
	手ぶれ警告、または露出不足警告（半押しのとき）	撮影できますが、手ぶれを起こしたり、撮影した画像が暗くなる場合があります。カメラをしっかり固定して撮影するか、[⚡オート発光]などフラッシュを使用して撮影してください。
液晶モニタの電池残量マーク（▭）点灯	電池の残量が少ない	電池を充電、または交換してください。
カメラ本体のランプが緑点灯	カメラの電源が入っている	撮影できます。
	カメラが待機状態にある	ズームボタンなどいずれかのボタンを押すと、カメラは復帰します。
	パソコンとカメラが接続されている	カメラ上では撮影／再生できません。
カメラ本体のランプが赤点滅	カードへ記録中、または処理中	カードカバーを絶対に開けたり、電池やACアダプタ／パワーカプラーの抜き差しをしないでください。撮影した画像が保存されないだけでなく、保存済みの画像が破壊されるおそれがあります。

アフターサービス

- 保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、直ちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

- 本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。取扱説明書にしたがったお取扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満 1ヶ年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。

- 保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。

- 当カメラの補修用性能部品は、製造打ち切り後 5 年間を目安に当社で保有しております。
  したがって本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間後であっても修理可能な場合もありますので、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにお問い合わせください。

- 海外で故障・不具合が生じた場合は、オリンパス代理店リストに記載のⓌマークが付いた販売店・サービスステーションまでご依頼ください。

- 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等）については補償しかねます。また、運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。

- 修理品をご送付の場合は、修理個所を指定した書面を同封して十分な梱包でお送りください。また控えが残るよう宅配便または書留小包のご利用をお願いします。

カメラのお手入れと保管

● カメラのお手入れについて

カメラの外側

- 柔らかい布でやさしく拭いてください。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、固く絞ってから、汚れを拭き取ります。その後、乾いた布でよく拭きます。海辺でカメラを使用した場合は、真水に浸した布を固く絞ってから拭き取ります。

レンズ

- レンズブロワー（市販）でほこりを吹き払います。レンズクリーニングペーパー（市販）で軽く拭きます。

液晶モニタ

- 柔らかい布で軽く拭きます。

カード／電池／充電器

- 乾いた柔らかい布で軽く拭きます。

注 意

- ベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾を使わないでください。
- お手入れをする前に、電池や AC アダプタ、パワーカプラーをカメラから取り外してください。
- レンズを汚れたままにしておくと、かびが生えることがあります。

● カメラの保管について

- カメラを長期間使用しないときは、電池とカードを取り外してから風通しがよく涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 保管期間中でも、ときどき電池を入れてカメラの動作を確かめてください。

● カメラ内部の結露について

結露とは

- 外気が寒いときに空気中にある水蒸気が急速に冷やされて水滴になることです。カメラが冷えた状態で急に暖かい部屋などに入れた場合に発生します。

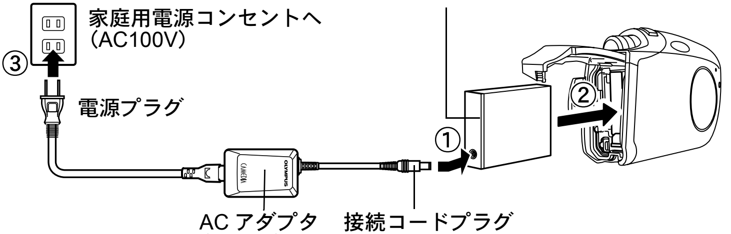
結露を防ぐには

- カメラを寒いところから急に暖かいところに持ち込むときは、ビニール袋にカメラを入れて空気を抜き、なるべく密閉状態にしてください。その場の温度になじむまで、約 1 時間放置してから取り出してください。

AC アダプタを使う（別売）

このカメラでは付属の専用リチウムイオン電池の他、専用の AC アダプタ（D-7AC）を使用することができます。このカメラで AC アダプタを使うには、パワーカプラー（BPC-01 ／別売）が必要です。パソコンに画像を取り込むときなど、時間がかかる作業を行う場合には、AC アダプタの使用をおすすめします。専用の AC アダプタ以外はご使用にならないでください。

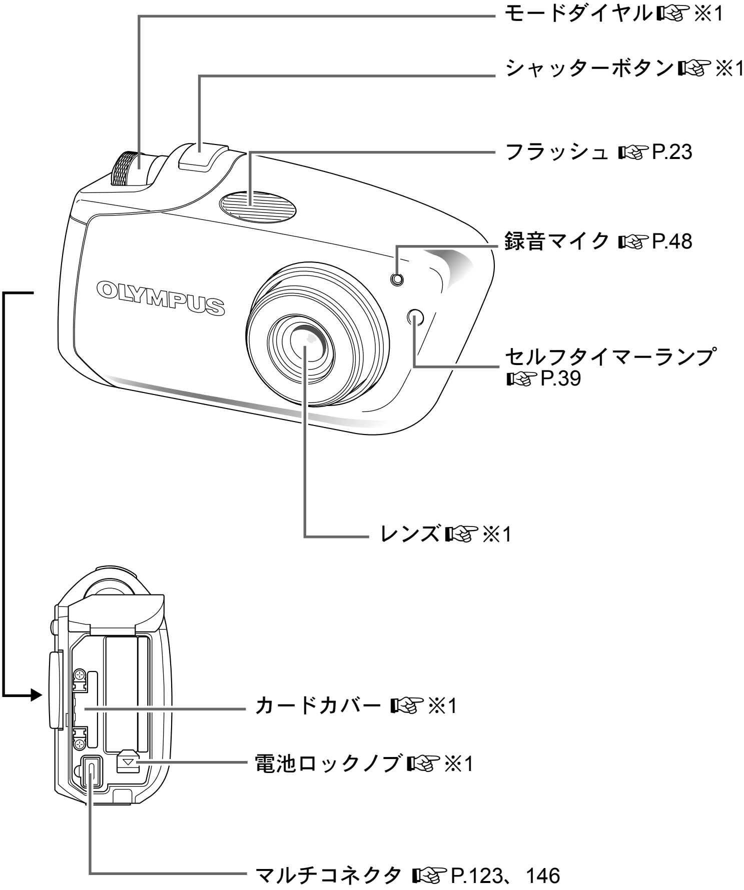
図の順番で差し込みます。



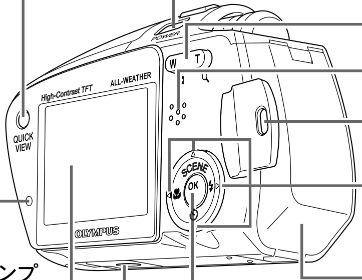
注　意

- 取り外すときは、逆の順番で行ってください。
- カメラの電源が入っているときは、AC アダプタおよびパワーカプラーを抜き差ししないでください。カメラに設定されている設定値や機能にトラブルが生じる場合があります。
- パワーカプラーにACアダプタの接続コードプラグを差し込んだ状態で、カードの抜き差しはできません。カードの抜き差しは、カメラからパワーカプラーを取り外した状態で行ってください。
- AC アダプタは AC100 ～ 240V（50/60Hz）の電圧範囲でご使用になれます。海外でご使用の際は、変換プラグアダプタが必要になる場合があります。詳しくは、電気店や旅行代理店でご確認ください。
- 市販の海外旅行用電子式変圧器（トラベルコンバータ）は、AC アダプタが故障することがありますので使用しないでください。
- AC アダプタ使用時は、カメラの生活防水は機能しません。

各部の名前



※1　別冊の「取扱説明書 基本編」をご覧ください。



クイックビューボタン（QUICK VIEW） ☞※1

パワースイッチ ☞ ※1

ズームボタン ☞P.20、50、53

スピーカ

ストラップ取付部☞※1

ランプ

電池／コネクタカバー ☞※1

OK ／メニューボタン ☞P.4

三脚穴

液晶モニタ ☞※1、P.109

十字ボタン

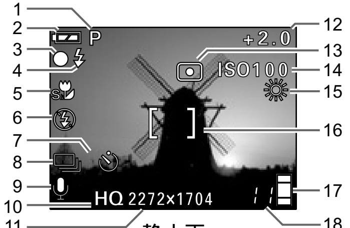


十字ボタンにはマクロ撮影やフラッシュの設定など、それぞれ機能があります。その他に方向キーとしても使用します。
☞「メニュー操作について」（P.4）

※1　別冊の「取扱説明書 基本編」をご覧ください。

液晶モニタの表示一覧

●撮影時



静止画



ムービー

	項目	表示例	参照ページ
1	撮影シーン	P、	P.14
2	電池残量		※1
3	緑ランプ	○	P.170
4	フラッシュ発光予告 手ぶれ警告・フラッシュ充電	 点滅	P.24、 P.170
5	マクロ スーパーマクロ		P.37
6	フラッシュモード		P.23
7	セルフタイマー		P.39
8	ドライブ		P.40
9	録音		P.47
10	画質	SHQ、HQ、SQ1、SQ2、SQ	P.25
11	画像サイズ	2272 × 1704、2048 × 1536、 1600 × 1200、1280 × 960、 1024 × 768、640 × 480	P.25
12	露出補正	–2.0 〜 +2.0	P.32
13	スポット測光		P.35
14	ISO 感度	ISO64、ISO100、ISO200、ISO400	P.33
15	ホワイトバランス		P.30
16	AF ターゲットマーク	[ ]	※1
17	メモリゲージ		※1
18	撮影可能枚数 撮影可能時間	11 00:36	※1 P.18

※1　別冊の「取扱説明書 基本編」をご覧ください。

6
付録

●再生時



静止画



ムービー

	項目	表示例	参照ページ
1	電池残量	、	※1
2	ファイル番号	100 - 0030	P.114
3	プリント予約・枚数 ムービー	× 10	P.119 P.59
4	録音		P.57
5	プロテクト		P.77
6	画質	SHQ、HQ、SQ1、SQ2、SQ	P.25
7	画像サイズ	2272 × 1704、2048 × 1536、 1600 × 1200、1280 × 960、 1024 × 768、640 × 480、 320 × 240、160 × 120	P.25
8	露出補正	–2.0 ～ +2.0	P.32
9	ホワイトバランス	、、、	P.30
10	ISO 感度	ISO64、ISO100、ISO200、ISO400	P.33
11	日時	'04.12.18　15:30	P.86
12	コマ番号 再生時間／録画時間	30 00:00 ／ 01:45	– P.59

※1　別冊の「取扱説明書 基本編」をご覧ください。

注　意

- ムービーの場合、画像を選択して表示したときと、ムービー再生中で表示内容は異なります。

メニュー一覧

撮影時と再生時のメニューの構成を、それぞれ静止画とムービーに分けて以下に示します。

●撮影メニュー（静止画）

トップメニュー	タブ	項目	選択肢	参照頁
モードメニュー	撮　影	測光	ESP／スポット	P.35
		ドライブ	単写／連写	P.40
		ISO 感度	オート／64／100／200／400	P.33
		デジタルズーム	オフ／オン	P.21
		AF 方式	iESP／スポット	P.12
		スチル録音	オフ／オン	P.47
		パノラマ		P.42
		合成ツーショット		P.45
	カード	フォーマット	フォーマット／中止	P.107
	設　定	設定保持	する／しない	P.88
			日本語／ENGLISH	P.84
		PW ON 設定	画面：オフ／1／2／3 音量：オフ／小／大	P.98
		画面配色設定	標準／ソフィア／ナチュラル／フューチャー	P.102
		ビープ音	オフ／小／大	P.92
		シャッタ音	オフ／1／2／3 小／大	P.94
		レックビュー	オフ／オン	P.90
		ファイル名メモリー	リセット／オート	P.104
		ピクセルマッピング		P.111
		モニタ調整		P.109
		日時設定		P.86
		ビデオ出力	NTSC／PAL	P.63

（グレー）は工場出荷時の設定（初期設定）

	選択肢	参照頁
画質モード	SHQ ／HQ／ SQ1 ／ SQ2	P.25
露出補正	–2.0 ～ 0.0 ～ +2.0	P.32
ホワイトバランス	オート／晴天／曇天／電球／蛍光灯	P.30

●撮影メニュー（ムービー）

トップメニュー ▶	タブ ▶	項目 ▶	選択肢 ▶	参照頁
モードメニュー	撮　影	測光	ESP ／スポット	P.35
		ISO 感度	オート／ 64 ／ 100 ／ 200 ／ 400	P.33
		デジタルズーム	オフ／オン	P.21
	カード	フォーマット	フォーマット／中止	P.107
	設　定	設定保持	する／しない	P.88
			日本語／ ENGLISH	P.84
		PW ON 設定	画面：オフ／ 1 ／ 2 ／ 3 音量：オフ／小／大	P.98
		画面配色設定	標準 ／ソフィア／ナチュラル／フューチャー	P.102
		ビープ音	オフ／小／大	P.92
		ファイル名メモリー	リセット／オート	P.104
		ピクセルマッピング		P.111
		モニタ調整		P.109
		日時設定		P.86
		ビデオ出力	NTSC ／ PAL	P.63
画質モード			HQ ／ SQ	P.28
露出補正			–2.0 ～ 0.0 ～ +2.0	P.32
ホワイトバランス			オート／晴天／曇天／電球／蛍光灯	P.30

（灰色）は工場出荷時の設定（初期設定）

メニュー一覧

●再生メニュー（静止画）

トップメニュー ▶	タブ ▶	項目 ▶	選択肢 ▶	参照頁
モードメニュー	再　生	プロテクト	オフ／オン	P.77
		回転表示	+90°／0°／–90°	P.54
		プリント予約	1 コマ予約／全コマ予約	P.115
		録音		P.57
	編　集	ソフトフォーカス作成	新規作成／中止	P.67
		フィッシュアイ作成	新規作成／中止	P.69
		モノクロ作成	新規作成／中止	P.71
		セピア作成	新規作成／中止	P.73
		リサイズ	640 × 480／320 × 240／中止	P.75
	カード	全コマ消去	消去／中止	P.80
		フォーマット	フォーマット／中止	P.107
	設　定	設定保持	する／しない	P.88
			日本語／ENGLISH	P.84
		PW ON 設定	画面：オフ／1／2／3 音量：オフ／小／大	P.98
		画面登録	決定／中止	P.100
		画面配色設定	標準／ソフィア／ナチュラル／フューチャー	P.102
		再生音量	オフ／小／大	P.96
		ビープ音	オフ／小／大	P.92
		モニタ調整		P.109
		日時設定		P.86
		ビデオ出力	NTSC／PAL	P.63
		インデックス表示	4／9／16	P.51
自動再生				P.56
情報表示				P.66
1 コマ消去			消去／中止	P.79

▭ は工場出荷時の設定（初期設定）

●再生メニュー（ムービー）

トップメニュー ▶	タブ ▶	項目 ▶	選択肢 ▶	参照頁
モードメニュー	再　生	プロテクト	**オフ**／オン	P.77
	編　集	インデックス作成	**新規作成**／中止	P.61
	カード	全コマ消去	消去／**中止**	P.80
		フォーマット	フォーマット／**中止**	P.107
	設　定	設定保持	する／**しない**	P.88
			**日本語**／ ENGLISH	P.84
		PW ON 設定	画面：オフ／**1**／2／3 音量：オフ／**小**／大	P.98
		画面登録	**決定**／中止	P.100
		画面配色設定	**標準**／ソフィア／ナチュラル／フューチャー	P.102
		再生音量	オフ／**小**／大	P.96
		ビープ音	オフ／**小**／大	P.92
		モニタ調整		P.109
		日時設定		P.86
		ビデオ出力	**NTSC** ／ PAL	P.63
		インデックス表示	4 ／ **9** ／ 16	P.51
ムービー再生				P.59
情報表示				P.66
1 コマ消去			消去／**中止**	P.79

（網掛け部分）は工場出荷時の設定（初期設定）

6 付録

撮影シーン別の設定可能な機能

撮影シーンによっては、設定できない項目があります。詳しくは、以下の表をご覧ください。

撮影シーン／機能	P P オート	ポートレート	風景	記念撮影	夜景	料理	ビーチ&スノー	一人旅
マクロ	○	○	○	○	○	○	○	○
フラッシュ	○	○	○	○	○	○	○	○
セルフタイマー	○	○	○	○	○	○	○	オン
クイックビュー	○	○	○	○	○	○	○	○
光学ズーム	○	○	○	○	○	○	○	○
画質モード	○	○	○	○	○	○	○	○
露出補正	○	○	○	○	○	○	○	○
ホワイトバランス	○	○	○	○	○	○	○	○
測光	○	○	○	○	○	○	○	○
ドライブ	○	○	○	○	×	○	○	○
ISO 感度	○	○	○	○	○	○	○	○
デジタルズーム	○	○	○	○	○	○	○	○
AF 方式	○	○	○	○	○	○	○	iESP
スチル録音	○	○	○	○	○	○	○	○
スーパーマクロ	○	○	×	×	×	○	○	×
パノラマ	○	○	○	○	○	○	○	○
合成ツーショット	○	○	○	○	○	○	○	○
フォーマット	○	○	○	○	○	○	○	○
設定保持	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○
PW ON 設定	○	○	○	○	○	○	○	○
画面配色設定	○	○	○	○	○	○	○	○
ビープ音	○	○	○	○	○	○	○	○
シャッタ音	○	○	○	○	○	○	○	○
レックビュー	○	○	○	○	○	○	○	○
ファイル名メモリー	○	○	○	○	○	○	○	○
ピクセルマッピング	○	○	○	○	○	○	○	○
モニタ調整	○	○	○	○	○	○	○	○
日時設定	○	○	○	○	○	○	○	○
ビデオ出力	○	○	○	○	○	○	○	○

機能 ＼ 撮影シーン	ショーウィンドウ	セルフポートレート	パーティショット	キャンドル	夕日	打上げ花火	ムービー
マクロ	○	○	○	○	○	○	○
フラッシュ	×	○	○	×	×	×	×
セルフタイマー	○	○	○	○	○	○	○
クイックビュー	○	○	○	○	○	○	○
光学ズーム	○	広角(W側)固定	○	○	○	○	※ 2
画質モード	○	○	※ 1	※ 1	○	○	○
露出補正	○	○	○	○	○	○	○
ホワイトバランス	○	○	○	○	○	○	○
測光	○	ESP	○	○	○	○	○
ドライブ	○	○	○	×	×	×	×
ISO 感度	○	○	○	○	○	○	○
デジタルズーム	○	×	○	○	○	○	○
AF 方式	○	iESP	○	○	○	○	○
スチル録音	○	○	○	○	○	○	×
スーパーマクロ	○	×	○	○	×	×	○
パノラマ	○	×	○	○	○	○	×
合成ツーショット	○	○	○	○	○	○	×
フォーマット	○	○	○	○	○	○	○
設定保持	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○
PW ON 設定	○	○	○	○	○	○	○
画面配色設定	○	○	○	○	○	○	○
ビープ音	○	○	○	○	○	○	○
シャッタ音	○	○	○	○	○	○	×
レックビュー	○	○	○	○	○	○	×
ファイル名メモリー	○	○	○	○	○	○	○
ピクセルマッピング	○	○	○	○	○	○	○
モニタ調整	○	○	○	○	○	○	○
日時設定	○	○	○	○	○	○	○
ビデオ出力	○	○	○	○	○	○	○

※ 1：SQ2 の「1280 × 960」「1024 × 768」「640 × 480」のみ設定できます。
※ 2：撮影待機時のみ設定できます。

カメラの仕様

形式 ： デジタルカメラ（記録・再生型）

記録方式

静止画 ： デジタル記録、JPEG（DCF 準拠）

対応規格 ： Exif 2.2、DPOF、PRINT Image Matching Ⅱ、PictBridge

静止画音声 ： Wave フォーマット準拠

動　画 ： QuickTime Motion JPEG に準拠

記録媒体 ： xD ピクチャーカード（16MB ～ 512MB）

記録コマ数（16MB 使用時） ： 静止画

画質モード	画像サイズ	撮影可能枚数
SHQ	2272 × 1704	5 枚
HQ		16 枚
SQ1	2048 × 1536	20 枚
SQ2	1600 × 1200	24 枚
	1280 × 960	38 枚
	1024 × 768	58 枚
	640 × 480	90 枚

ムービー

画質モード	画像サイズ	撮影可能時間
HQ	320 × 240（15 コマ／秒）	約 41 秒
SQ	160 × 120（15 コマ／秒）	約 150 秒

新品電池使用時の撮影枚数（フル充電時） ： 約 100 枚（CIPA 電池寿命測定法※に準拠）

カメラ部有効画素数 ： 400 万画素

画像素子 ： 1/2.5 型 CCD（原色フィルター）

レンズ ： オリンパスレンズ 5.8 ～ 11.6 mm（35 mm フィルム換算 35 ～ 70 mm 相当）、F3.5 ～ 4.9

測光方式 ： 撮像素子によるデジタル ESP 測光方式、スポット測光

シャッター ： 1/2 ～ 1/1000 秒（夜景モードでは最大 4 秒）

撮影距離 ： 0.5m ～∞（通常）、0.2m ～∞（マクロ撮影時）、0.08m ～ 0.5m（スーパーマクロ）

液晶モニタ ： 1.8 型（インチ）TFT カラー液晶、134,000 画素

フラッシュ充電時間 ： 約 5 秒（フル充電された新品電池を使用し、常温下において、フル発光後の充電時間を測定）

コネクタ ： マルチコネクタ

自動カレンダー機能 ： 2000 ～ 2099 年の範囲で自動修正

生活防水	種類	：	JIS 保護等級 4 相当（当社試験方法による）
	意味	：	いかなる方向からの水の飛まつを受けても有害な影響のないもの
使用環境	温度	：	0 ～ 40 ℃（動作時）／ –20 ～ 60 ℃（保存時）
	湿度	：	30 ～ 90％（動作時）／ 10 ～ 90％（保存時）
電源		：	専用リチウムイオン充電池または専用アダプタ
大きさ		：	95 × 55.5 × 27.5 mm（突起部を除く）
質量		：	115 g（電池／カード別）

外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

※ CIPA 電池寿命測定法（要旨）
電源 ON ～ 30 秒毎に 1 枚撮影。温度 23 ℃± 2 ℃。液晶モニタ常時点灯。各撮影につきズームをテレ端（ワイド端）からワイド端（テレ端）まで移動。
フラッシュ：2 回に 1 回フル発光。10 枚撮影ごとに電源 OFF を繰り返す。

付属品の仕様

xD ピクチャーカード

形式	：	デジタルカメラ用　xD-Picture Card
メモリーの種類	：	NAND 型フラッシュ EEP-ROM
メモリーの容量	：	16MB
駆動電圧	：	3V（3.3V）
使用周囲温度	：	0 ～ 55°C（動作時）／ –20 ～ 65°C（保管時）
使用周囲湿度	：	95％以下（動作・保管時）
大きさ	：	約 20 × 25 × 1.7 mm

充電器（LI-30C）

定格入力	：	AC100 ～ 240V（50/60Hz）
定格出力	：	DC4.2V、550mA
充電時間	：	約 110 分
使用周囲温度	：	0 ～ 40°C（充電時）／ –25 ～ 65°C（保存時）
大きさ	：	74 × 52 × 30 mm
質量	：	約 55 g

リチウムイオン充電池（LI-30B）

形式	：	充電式リチウムイオン電池
公称電圧	：	DC3.7V
公称容量	：	645mAh
充放電回数	：	約 300 回 （使用する条件により異なります。）
使用周囲温度	：	10 ～ 40°C（充電時）／ –10 ～ 60°C（動作時）／ –20 ～ 35°C（保存時）
大きさ	：	34 × 27 × 8.5 mm
質量	：	約 16g

外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

索引

し

す

せ

そ

た

て

と

な

に

は

ひ

ふ

6 付録

MEMO

6

付録

MEMO

6
付録

MEMO

MEMO

MEMO

お問い合わせいただく前に（お願い）

- より迅速、正確にお答えするために、お手数ですが以下の内容をあらかじめご確認ください。
- FAX または郵便でお問い合わせいただく場合は、必ずご記入ください。
- 問題が発生したときの症状・表示されたメッセージ・症状の再現性など：パソコンが関係する問題は、とくに正確な状況把握が難しいので、お手数ですができるだけくわしくお知らせください。

●お名前（フリガナ）

●連絡先：郵便番号

ご住所（自宅か会社のいずれかを明記願います）

電話番号／ FAX

E-mail

●製品名（型番 ）：

●シリアル番号（製品底面に記載されています ）：

●お買い上げ日：

※以下は、カメラをパソコンと接続してご使用、またはソフトウェアをご使用の場合にお確かめください。

●ご使用のパソコンの種類：

パソコンメーカー・型番等

●メモリの容量　ハードディスクの空き容量：

●OS 名とバージョン：

（Windows）コントロールパネル－システム―デバイスマネージャーの内容

（Mac OS）コントロールパネルや機能拡張の内容

●その他接続されている周辺機器名：

●問題のご使用アプリケーションソフト名とバージョン：

●問題のご使用弊社ソフト名とバージョン：

OLYMPUS®

オリンパスイメージング株式会社

〒163-0914　東京都新宿区西新宿2の3の1 新宿モノリス

ホームページのご案内

http://www.olympus.co.jp/

ホームページによる情報提供について

製品仕様、パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&Aなどの各種情報をご提供しております。オリンパスホームページ（**http://www.olympus.co.jp/**）から「お客様サポート」→「映像・情報分野」→「デジタルカメラ／プリンタ」へ進み、ご利用ください。

商品に関するお問い合わせ窓口（オリンパスカスタマーサポートセンター）

フリーダイヤル 0120-084215

携帯電話・PHS からは 0426-42-7499

FAX　0426-42-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。より迅速、正確にお答えするためにお手数ですが、裏面の「お問い合わせいただく前に（お願い）」の内容をあらかじめご確認ください。

営業時間　**平日**　9：30〜21：00
土・日・祝日　10：00〜18：00
（年末年始、システムメンテナンス日を除く）

修理に関するお問い合わせ、修理品ご送付先

TEL 0266-26-0330　**FAX 0266-26-2011**

〒394-0083　長野県岡谷市長地柴宮3-15-1
オリンパス岡谷修理センター

営業時間　9:00〜17:00（日曜、夏期・年末年始休業、システムメンテナンス日を除く）

国内サービスステーション（修理受付窓口）

東　京	〒101-0052	千代田区神田小川町１の３の１ 小川町三井ビル（オリンパスプラザ内）	Tel.03（3292）3403
札　幌	〒060-0034	札幌市中央区北４条東１の２の３　札幌フコク生命ビル	Tel.011（231）2320
仙　台	〒981-3133	仙台市泉区泉中央１の13の４　泉エクセルビル	Tel.022（218）8421
名古屋	〒460-0003	名古屋市中区錦２の19の25　日本生命広小路ビル	Tel.052（201）9571
大　阪	〒542-0081	大阪市中央区南船場２の12の26　オリンパス大阪センター	Tel.06（6252）6995
広　島	〒730-0013	広島市中区八丁堀16の11　日本生命広島第２ビル	Tel.082（228）3821
福　岡	〒810-0004	福岡市中央区渡辺通３の６の11　福岡フコク生命ビル	Tel.092（761）4466

※ 土・日曜、祝日および年末年始・夏期休暇は原則として休業させていただきます。
オリンパスプラザ内の東京サービスステーションは土曜も営業しております。

Printed in China

VT972201